

# Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)

## Epson iProjectionについて

Epson iProjectionの機能	5
さまざまな機器との接続	5
4画面分割投写	5
投写する発表者や位置のスムーズな切り替え	6
モデレーター機能	6
配信・サムネイル表示機能	7
USBメモリーを使用した接続 (Windowsのみ)	7

## はじめてソフトウェアを使うときの準備

ソフトウェアをインストールする	10
Epson iProjectionシステム動作条件	10
Epson iProjectionの形式	11
Epson iProjectionをインストールする(Windows)	11
Epson iProjectionをインストールする(Mac)	11
プロジェクターを設定する	13
使用するネットワーク環境に適した接続方法	13
推奨環境(無線LAN)	14
かんたんモードで接続するときの設定方法	14
マニュアルモードで接続するときの設定方法(無線LAN)	15
マニュアルモードで接続するときの設定方法(有線LAN)	16

## プロジェクターに接続して画面を投写する

接続方法	19
ミーティングのスタイルに適した接続方法	19
プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する	20
プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続する	23
プロジェクターを検索する	26
検索方法	
自動で検索する	

IPアドレスまたは ブロジェクター名を指定して検索する	27
プロファイルを使って検索する	27
プロファイルとは	28
プロファイルを指定して検索する	28
プロファイルを登録する	28
プロファイルをエクスポートする	30
プロファイルをインポートする	30
ネットワーク経由でプロファイルを共有する	30
投写する映像を操作する	32
<b>投写する映像を操作する</b> 操作する画面の種類	<b> 32</b>
<b>投写する映像を操作する</b> 操作する画面の種類	
<b>投写する映像を操作する</b> 操作する画面の種類	
<b>投写する映像を操作する</b> 操作する画面の種類 投写映像を操作する 投写画面の分割数を切り替える 発表者を交代する	
<b>投写する映像を操作する</b> 操作する画面の種類	

## 便利な機能を活用する

88
38
39
39
39
12
13
14
15
ŀ7
18
19
} 3 3 4 4 4 4 <b>4 4</b>

参加者の操作を制限する 50	0
通信時の使用帯域を制御する 51	1
使用帯域制御時の制限事項52	2

# 困ったときに

ネットワーク接続に関するトラブル	54
かんたんモードで接続できない	
マニュアルモードで接続できない(無線LAN)	
マニュアルモードで接続できない(有線LAN)	
投写中のトラブル	58
画面が正しく投写されない	58
プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる	58
モデレーター機能が動作しない	59
投写画面が配信されない	59
エラーメッセージー覧	60
Epson iProjection起動時のエラーメッセージ	60
USBキー使用時のエラーメッセージ	62
USBキー使用時のエラーメッセージ プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ	62 62
USBキー使用時のエラーメッセージ プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ 投写時のエラーメッセージ	
USBキー使用時のエラーメッセージ プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ 投写時のエラーメッセージ プロファイル操作時のエラーメッセージ	
USBキー使用時のエラーメッセージ	
USBキー使用時のエラーメッセージ	

## 各画面の説明

付録

接続モード選択画面	69
プロジェクター検索画面	70
保存画面	72
オプション設定	73

オプション設定 - ユーザー設定	73
オプション設定 - 一般設定	74
オプション設定 - パフォーマンス調整	. 76
オプション設定 - 音声出力	77
オプション設定 - 配信	. 78
ツールバー	79
投写操作画面	80
サムネイル画面	83
Viewer	85

ソフトウェアを更新、またはアンインストールする	87
ソフトウェアの最新バージョンを入手する	87
Epson iProjectionをアンインストールする(Windows Vista/Windows	07
//Windows 10)	87
Epson iProjection をアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)	87
Epson iProjectionをアンインストールする(Mac)	88
対応解像度と表示色	89
対応解像度	89
表示色	89
制限事項	. 90
使用時の制限	90
WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限	90
Windows Aeroの制限	90
Windows Media Center投写時の制限	91
一般のご注意	92
· <i>」 で</i> 注意	92
表記について	92
商標について	92
著作権について	93

# Epson iProjectionについて

Epson iProjectionの特長を説明します。

## ▶ 関連項目

・「Epson iProjectionの機能」 p.5

Epson iProjectionを使うと、ネットワーク上のプロジェクターから映像 を投写して、ミーティングや授業をより活発にできます。お使いの環 境に合わせて、さまざまな画面投写機能を利用できます。

### ▶ 関連項目

- ・「さまざまな機器との接続」 p.5
- 「4画面分割投写」 p.5
- ・「投写する発表者や位置のスムーズな切り替え」 p.6
- ・「モデレーター機能」 p.6
- ・「配信・サムネイル表示機能」 p.7
- ・「USBメモリーを使用した接続 (Windowsのみ)」 p.7

## さまざまな機器との接続

Epson iProjectionを使って1台のコンピューターをプロジェクターに接続すると、コンピューター、スマートフォンやタブレット端末を50 台まで同時に接続できます。接続しているコンピューターやタブレット端末の中から4台までの画面を、Epson iProjectionで選んでプロジェ クターから投写できます。 また、ネットワーク上の4台までのプロジェクターに同じ画面を投写して、遠隔地で同じ画面を共有しながらミーティングを開催できます。



#### ▶ 関連項目

- ・「複数のプロジェクターと接続する(ミラーリング)」 p.42
- 「接続方法」 p.19

## 4画面分割投写

投写画面を分割することで、4台までのコンピューターやタブレット端 末の画面を同時に投写して、ビジネスや授業で活用できます。

この機能により、複数の資料を並べて表示して、データを比較、分析 できます。また授業では、片方の画面で教材を投写しながら、もう一 方の画面では生徒の答えや作品を投写して、生徒に内容の理解を深め てもらう使い方もできます。



#### ▶ 関連項目

・「投写画面の分割数を切り替える」 p.33

## 投写する発表者や位置のスムーズな切り替え

Epson iProjectionの投写操作画面を使うと、ドラッグ&ドロップ操作だけで、投写する画面や投写する位置を簡単に切り替えることができます。

#### 同じネットワーク上のプロジェクターを共有すれば、ケーブルをつな ぎかえることなく、交替でプレゼンテーションができます。





#### ▶ 関連項目

- ・「発表者を交代する」 p.34
- 「投写位置を切り替える」 p.35

## モデレーター機能

モデレーター機能を使うと、ミーティングの出席者の1人がモデレー ターとなり、投写画面を操作できます。この機能は、出席者の1人がモ デレーターに、他の出席者が参加者になり、モデレーターが投写画面 を操作するミーティングに適しています。

モデレーター機能は授業などでも活用できます。生徒や学生に進行を 中断されることなく、先生がスムーズに講義を進めることができま す。





お使いのプロジェクターの機種によっては、この機能に対応し ていないことがあります。

- ▶ 関連項目
- ・「モデレーターを交代する」 p.45
- ・「接続方法」 p.19

## 配信・サムネイル表示機能

配信機能を使うと、プロジェクターから投写している画面を参加者の 端末に配信できます。参加者は、描画ソフトを利用して、受信した画 面に書き込みができます。参加者の書き込みは、サムネイル画面を 使ってモデレーターが確認できます。モデレーターが参加者に質問を

### 投げかけ、参加者から出た回答やアイディアの中から、正解や良い回 答を選択して投写するときに便利です。





お使いのプロジェクターの機種によっては、この機能に対応し ていないことがあります。

#### ▶ 関連項目

- ・「投写画面を配信する」 p.47
- ・「サムネイルで参加者の画面を選択して投写する」 p.48

## USBメモリーを使用した接続 (Windowsのみ)

市販のUSBメモリーを、プロジェクターのネットワーク情報をWindows コンピューターに転送するUSBキーとして使用できます。USBキーをコ ンピューターに挿すだけで、ネットワーク経由でのプロジェクターの 利用が簡単になります。

## 発表者を交代するときは、USBキーを次の発表者のコンピューターに 差し替えるだけで、投写画面の切り替えができます。





・本機能で作成したUSBキーは、プロジェクターの無線LAN ユニットとしては利用できません。

#### ▶ 関連項目

・「USBメモリーを使って接続する (Windowsのみ)」 p.39

# はじめてソフトウェアを使うときの準備

プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続するために必要な準備をします。

#### ▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアをインストールする」 p.10
- ・「プロジェクターを設定する」 p.13

Epson iProjectionは、プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMからインストールします。CD-ROMをお持ちでない場合は、エ プソンのホームページからダウンロードできます。

	・インストール時に選択した言語が、使用しているオペレーティングシステムの言語と異なるときは、画面が正しく表示されないことがあります。
	・コンピューターにEasyMP Multi PC Projectionがインストールさ
	れているときは、EasyMP Multi PC Projectionをアンインストー
	ルしてからEpson iProjectionをインストールしてください。
••	関連項目
•	「Epson iProjectionシステム動作条件」 p.10
•	「Epson iProjectionの形式」 p.11
•	「Epson iProjectionをインストールする(Windows)」 p.11
•	「Epson iProjectionをインストールする(Mac)   p.11
•	「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 p.87

## Epson iProjectionシステム動作条件

Epson iProjectionは、次の条件を満たすコンピューターで動作します。

条件	Windows	Мас
OS	Windows Vista	OS X
	・Ultimate(32ビット)	・10.7.x(32/64ビット)
	・Enterprise(32ビット)	・10.8.x(64ビット)
	・Business(32ビット)	・10.9.x(64ビット)
	・Home Premium(32ビット)	・10.10.x(64ビット)
	・Home Basic(32ビット)	・10.11.x(64ビット)

条件	Windows	Мас
	Windows 7	macOS
	・Ultimate(32/64ビット)	・10.12.x(64ビット)
	・Enterprise(32/64ビット)	
	・Professional(32/64ビット)	
	・Home Premium(32/64ビッ ト)	
	・Home Basic(32ビット)	
	・Starter(32ビット)	
	Windows 8	
	・Windows 8(32/64ビット)	
	・Windows 8 Pro(32/64ビッ ト)	
	・Windows 8 Enterprise(32/64 ビット)	
	Windows 8.1	
	・Windows 8.1(32/64ビッ ト)	
	・Windows 8.1 Pro(32/64ビット)	
	・Windows 8.1 Enterprise(32/64ビット)	
	Windows 10	
	・Windows 10 Home(32/64 ビット)	
	・Windows 10 Pro(32/64ビット)	
	・Windows 10 Enterprise(32/64ビット)	

# ソフトウェアをインストールする

条件	Windows	Мас
CPU	Intel Core2Duo 以上 (推奨:Intel Core i5 以上)	
メモリー容量	2GB 以上 (推奨:4GB 以上)	
ハードディスク 空き容量	50 MB以上	
ディスプレイ	800 × 600(SVGA) 以上、1920 解像度 16ビットカラー以上の表示色	× 1200 (WUXGA)以下の (約32000色の表示色)



- Service PackがインストールされていないWindows Vista と Windows Vista Service Pack 1は動作保証の対象外です。
- Service PackがインストールされていないWindows 7は動作保証の対象外です。

## Epson iProjectionの形式

Epson iProjectionの使い方に合わせて、インストールするソフトウェアの形式を選択できます。

[通常版]

Epson iProjectionのすべての機能を使用できます。

モデレーター機能のモデレーターとして接続し、投写操作画面の操 作ができます。

• [参加専用版]

モデレーター機能の参加者としてのみ接続できます。投写操作画面 は操作できません。

## Epson iProjectionをインストールする(Windows)

Epson iProjectionをお使いのコンピューターにインストールします。



コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理 者権限が必要です。

- コンピューターの電源を入れます。
- 2 起動中のアプリケーションがないことを確認します。



- EPSON Projector Software CD-ROMをお持ちの場合は、コン ピューターにセットして、以下の手順に従ってください。
- エプソンのホームページからダウンロードする場合は、画面の 指示に従ってインストールしてください。

自動的にセットアッププログラムが起動します。

- 自動的にインストールが開始されないときは、[マイコンピュー タ] (または[コンピューター])からCD-ROMドライブを開 き、[iProjection\_Inst.exe]をダブルクリックします。
- **5** 画面の指示に従って、インストールを進めます。

Epson iProjectionをインストールする(Mac)

Epson iProjectionをお使いのコンピューターにインストールします。

▋ コンピューターの電源を入れます。

# ソフトウェアをインストールする



起動中のアプリケーションがないことを確認します。

- 3 次のいずれかの方法でインストールします。
  - EPSON Projector Software CD-ROMをお持ちの場合は、コン ピューターにセットして、以下の手順に従ってください。
  - エプソンのホームページからダウンロードする場合は、画面の 指示に従ってインストールしてください。
- EPSON ウィンドウで [iProjectionInstaller.pkg] アイコンをダブル
  クリックします。

インストール画面が表示されます。

**5** 画面の指示に従って、インストールを進めます。

コンピューターとプロジェクターの接続方法を決めて、プロジェク ターの設定をします。

#### ▶ 関連項目

- ・「使用するネットワーク環境に適した接続方法」 p.13
- •「推奨環境(無線LAN)」 p.14
- ・「かんたんモードで接続するときの設定方法」 p.14
- ・「マニュアルモードで接続するときの設定方法(無線LAN)」 p.15
- ・「マニュアルモードで接続するときの設定方法(有線LAN)」 p.16

## 使用するネットワーク環境に適した接続方法

お使いのネットワーク環境に適した接続方法を選択できます。 プロジェクターのネットワークへの接続方法(無線/有線)と、コン ピューターからプロジェクターまでの通信経路を確認します。 お使いのプロジェクターの機種によって、使用できない接続方法があ ります。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧くださ い。

# ・プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する:[かんたんモード]



・プロジェクターとコンピューターを無線LANのネットワーク環境に接続する:[マニュアルモード]



・プロジェクターとコンピューターを有線LANのネットワーク環境に接続する:[マニュアルモード]



## 推奨環境(無線LAN)

かんたんモードでプロジェクターに接続するコンピューターやタブ レット端末の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投 写映像の更新が遅くなることがあります。プロジェクターに同時に接 続できる端末の数は、無線環境によって異なります。

マニュアルモードで、複数のコンピューターやタブレット端末とプロ ジェクターを無線で直接接続するときは、以下の環境を推奨します。

- 1台のアクセスポイントに接続するコンピューターやタブレット端末の数は、10~20台を目安としてください。接続可能なコンピューターやタブレット端末の数についての詳細は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- ・複数のアクセスポイントをお使いのときは、それぞれのアクセスポイントに別のチャンネルを設定してください。また、プロジェク

- ターは、コンピューターやタブレット端末を接続するアクセスポイントとは別のアクセスポイントに接続してください。
- ・安定した接続を確保するために、無線LANコントローラーの使用を推 奨します。
- ・802.11nに対応したアクセスポイントをお使いください。

無線LAN環境を構築する際は、ネットワーク管理者にご相談ください。



有線LANに対応したプロジェクターをお使いのときは、複数のコ ンピューターやタブレット端末と接続するために有線LAN接続を 推奨します。

## かんたんモードで接続するときの設定方法

コンピューターとプロジェクターを無線で直接接続するために、コン ピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

- コンピューターで無線LANを使えるようにネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- 2 必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットを装着します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- **3** プロジェクターの電源を入れます。
- リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。 [ネットワーク]から[ネットワーク設定画面へ]を選択します。
- **5** [無線LAN] を選択します。

#### 次の画面のどちらかが表示されます。



6

#### 無線LANを有効にします。

お使いのプロジェクターによって設定内容が異なります。 詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

- 7 [接続モード]を[かんたんモード]に設定します。
- 8 必要に応じて他の項目を設定します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- 必要に応じて、 [セキュリティー] メニューでセキュリティー
   設定を選択します。セキュリティーの設定の内容は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
- 10 設定が終了したら、 [設定完了] または [完了] を選択します。 画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了してください。

#### ▶ 関連項目

・「プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する」 p.20

# マニュアルモードで接続するときの設定方法(無線 LAN)

無線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、 コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

- 1 接続するアクセスポイントの設定(SSID、セキュリティー)を、 ネットワーク管理者に確認します。
- 2
  - コンピューターをネットワークに接続します。

接続されていないときは、コンピューターでネットワーク
 設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書を
 ご覧ください。

- 3 必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットを装着します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- **4** プロジェクターの電源を入れます。
- 5 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。 [ネットワーク]から[ネットワーク設定画面へ]を選択しま す。
- **6** [無線LAN] を選択します。

### 次の画面のどちらかが表示されます。





## 無線LANを有効にします。

お使いのプロジェクターによって設定内容が異なります。 詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧くださ 610

- 「接続モード」を「マニュアルモード」に設定します。 8
- 必要に応じて他の項目を設定します。詳しくは、プロジェクター 9 の『取扱説明書』をご覧ください。
- 10 必要に応じて、 [セキュリティー] メニューでセキュリティー 設定を選択します。セキュリティーの設定の内容は、ネットワー ク管理者の指示に従ってください。
- 設定が終了したら「設定完了」または「完了」を選択します。画 11 面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了してください。

#### ▶ 関連項目

 「プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続す る」 p.23

## マニュアルモードで接続するときの設定方法(有線 LAN)

有線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、 コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。



お使いのネットワーク環境でDHCPを使用できるか、ネットワー ク管理者に確認します。

- **AND** DHCPを使用できないときは、プロジェクターに設定する 次の値を確認します。
  - ・IPアドレス
  - ・サブネットマスク
  - ・ゲートウェイアドレス
- コンピューターをネットワークに接続します。 2
  - Eller A 接続されていないときは、コンピューターでネットワーク 設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書を ご覧ください。
- プロジェクターにLANケーブルを接続します。 3
- プロジェクターの電源を入れます。
- リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。 5 「ネットワーク」から「ネットワーク設定画面へ」を選択しま す。

「有線LAN」を選択します。 6

#### 次の画面のどちらかが表示されます。





7 必要に応じて、IP設定を選択します。

- DHCPを使用できる場合: [DHCP] を [オン] に設定します。
- ・ DHCPを使用できない場合: [DHCP] を [オフ] に設定して、 プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェ イアドレスを入力します。
- 8 設定が終了したら [設定完了] または [完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了してください。

#### ▶ 関連項目

 「プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続す る」 p.23

# プロジェクターに接続して画面を投写する

コンピューターとプロジェクターをネットワーク経由で接続して、コンピューターの画面をプロジェクターで投写します。 事前にソフトウェアをインストールして、プロジェクターの接続モードを設定しておいてください。

- ▶ 関連項目
- ・「接続方法」 p.19
- ・「プロジェクターを検索する」 p.26
- 「投写する映像を操作する」 p.32
- ・「プロジェクターとの接続を終了する」 p.36
- ・「ソフトウェアをインストールする」 p.10
- ・「プロジェクターを設定する」 p.13

開催するミーティングのスタイルに合わせて、コンピューターとプロ ジェクターの接続方法を選択します。

#### ▶ 関連項目

- ・「ミーティングのスタイルに適した接続方法」 p.19
- ・「プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する」 p.20
- 「プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続する」 p.23

## ミーティングのスタイルに適した接続方法

開催するミーティングのスタイルに合わせて、接続方法を選択しま す。

ミーティングの進め方を考えます。選択した接続方法によって、接続 するための操作が異なります。



お使いのプロジェクターの機種によっては、使用できない接続 方法があります。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』 をご覧ください。 ・出席者全員が投写画面を操作して、各自が自由に画面を投写できる スタイル(ビジネスシーンなどで出席者と話し合い、議論を交わ す)



 モデレーター機能を使い、1人の出席者がモデレーターとなり、ミー ティングを進行するスタイル(授業や講義などで、モデレーターが 投写する画面を操作する)



モデレーター機能を使用してミーティングを開始するには、1 人の出席者がモデレーターとしてプロジェクターに接続し、他の出席者が参加者としてプロジェクターに接続する必要があります。

#### ▶ 関連項目

- ・「モデレーターを交代する」 p.45
- 「プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続する」 p.23

## プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続す る

プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続して、画面を投写 します。接続する前に次の準備をしてください。

・プロジェクターに無線LAN機能が内蔵されているか、無線LANユニットが装着されていることを確認する

・プロジェクターの接続モードを [かんたんモード] に設定する

- ・参加専用版のソフトウェアをお使いの場合は、ネットワーク経 由でプロジェクターとコンピューターを接続する必要がありま す。
  - ・プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続するとき は、コンピューターとアクセスポイントとの接続が切断されま す。
  - ・コンピューターの無線LAN機能をオンにしてください。
- リモコンの【LAN】ボタンまたは【入力検出】ボタンを押して、 入力信号をLANに切り替えます。

LAN待機画面が表示されます。

[LAN]	
プロジェクター名 SSID IPアドレス ユー IPアドレス (ギ) キーワード	: EB**** : : :



3

フ コンピューターでEpson iProjectionを起動します。

- Windows Vista/Windows 7の場合: 「スタート」 「プログラ ム] (または [すべてのプログラム] ) - [EPSON Projector] - [Epson iProjection] - [Epson iProjection Ver.X.XX]の順に選 択します。
- ・ Windows 8/Windows 8.1の場合: [アプリ] 画面で [Epson iProjection Ver.X.XX]を選択します。
- Windows 10の場合: 「スタート」 「EPSON Projector」 -[Epson iProjection] の順に選択します。
- Macの場合: 「アプリケーション」フォルダーから「Epson iProjection]をダブルクリックします。

ショートカットを作成し、ショートカットからEpson iProjectionを起動して、あらかじめ保存したプロジェク ターを自動で検索することもできます。

[かんたんモード] を選択して、 [OK] をクリックします。

🛃 Epson iProjection Ver. X.XX		×
使用する接続モードを選択してください。		
無線で接続するときは、プロジェクターの「ネットワー 続モードを選択してください。 (初期設定では【かんたんモード】に設定されていま	-ク]メニューで きす。)	設定した接
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>		
コンピューターとプロジェクターを無線で直接接続	します。	
■ 選択した接続モードを次回以降のデフォノ (次回からこの画面を表示しない)	レト設定とす	<u>ත</u> .
OK =++	ンセル	

- 次のいずれかの方法でプロジェクターを検索します。
  - [自動検索]:自動で検索します。
  - 「プロファイル」:プロファイルとして保存してあるプロジェ クターを検索します。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

- 5 [プロジェクターリスト] から接続するプロジェクターを選択し て、次のいずれかの操作を行います。
  - ・出席者全員をモデレーター機能の参加者にしたいとき:「モデ レーターとして接続する、または割り込み接続を禁止する」が 選択されていないことを確認して、「参加」をクリックしま す。
  - モデレーターとして投写し、他の出席者が投写するのを禁止し たいとき: [モデレーターとして接続する、または割り込み接 続を禁止する〕を選択して、「参加〕をクリックします。



- ・お使いのプロジェクターの機種によっては、モデレー ター機能に対応していないことがあります。また、モデ レーター機能は通常版のソフトウェアでのみ使用できま す。
  - 1人のユーザーがモデレーターとして接続すると、モデレーター機能が有効になります。

プロジェクター側で[モデレーターパスワード]を設定してい るか、[プロジェクターキーワード]を[オン]にしているとき は、キーワードを入力する画面が表示されます。

- 6 投写画面上に表示されているプロジェクターキーワードを入力 し、 [OK] をクリックします。
- ⑦ 次の画面が表示されるときは、プロジェクターに設定したパス ワードを入力し、[接続する]をクリックします。

Epson iProjection Ver. X.XX
接続中のプロジェクターには、無線LANセキュリティーが設定 されています。 バスワードを入力してください。
l
□ パスワードを記憶し、次回以降このダイアログを表示しない。
接続するキャンセル



接続が完了すると、コンピューターの画面が投写されます。コン ピューターの画面にはツールバーが表示されます。

Epson iProjection Ver. X.XX	
	全ユーザーの切断

最初に接続したユーザーのコンピューターの画面が全画面表示で投写 されます。後から接続したユーザーは、ツールバーの 💽 をクリッ

クすると、自分の画面を投写できます。また、ツールバーの 🛃 をク リックして投写操作画面を表示してから、投写画面を操作することも できます。

- ・ネットワーク接続以外の入力信号がないときは、コンピュー  $\langle$ ターと接続すると、入力ソースが自動でLANソースに切り替わ ります。自動でLANソースに切り替わらないときは、リモコン の【LAN】ボタンまたは【入力検出】ボタンを押してくださ い。
  - 表示されるツールバーは、接続方法またはソフトウェアの形式 によって異なります。
  - モデレーター機能を使うと、モデレーターだけが投写画面を操 作できます。
- ▶ 関連項目
- 「かんたんモードで接続するときの設定方法」 p.14
- ・「プロジェクターとの接続を終了する」 p.36
- ・「プロジェクターを検索する」 p.26
- 「投写する映像を操作する」 p.32
- 「ショートカットを使って検索する」 p.38

## プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由 で接続する

Epson iProjectionを使用して、お使いのネットワーク環境でコンピュー ターとプロジェクターを接続して画面を投写します。接続する前に次 の準備をしてください。

- ・無線LAN内蔵のプロジェクターをお使いでない場合は、プロジェク ターに無線LANユニットを装着する(無線LAN環境の場合)
- ・プロジェクターにLANケーブルを接続する(有線LAN環境の場合)
- ・プロジェクターの接続モードを [マニュアルモード] に設定する



コンピューターがネットワークに接続していることを確認して



リモコンの【LAN】ボタンまたは【入力検出】ボタンを押して、 入力信号をLANに切り替えます。

LAN待機画面が表示されます。

[LAN]	
プロジェクター名 SSID IPアドレス <del>-</del> IPアドレス (ŵ) キーワード	: EB*** : : :



- コンピューターでEpson iProjectionを起動します。
- Windows Vista/Windows 7の場合: [スタート] [プログラ ム] (または [すべてのプログラム] ) - [EPSON Projector] - [Epson iProjection] - [Epson iProjection Ver.X.XX]の順に選 択します。
- ・ Windows 8/Windows 8.1の場合: [アプリ] 画面で [Epson iProjection Ver.X.XX]を選択します。
- ・Windows 10の場合: [スタート] [EPSON Projector] -[Epson iProjection] の順に選択します。
- Macの場合: [アプリケーション] フォルダーから [Epson] iProjection] をダブルクリックします。



ショートカットを作成し、ショートカットからEpson iProjectionを起動して、あらかじめ保存したプロジェク ターを自動で検索することもできます。



[マニュアルモード]を選択して、 [OK] をクリックします。

Epson iProjection Ver. X.XX
使用する接続モードを選択してください。
無線で接続するときは、プロジェクターの「ネットワーク]メニューで設定した接 続モードを選択してください。 〈初期設定では「かんたんモード」に設定されています。〉
<ul> <li>● かんたんモード</li> <li>● マニュアルモード</li> <li>● マニュアルモード</li> </ul>
無様LANアクセスホイフトまたは有様LANビフロンエクターと接続します。
■ 選択した接続モードを次回以降のデフォルト設定とする。 (次回からこの画面を表示しない)
<b>OK</b> キャンセル

次のいずれかの方法でプロジェクターを検索します。

- ・ [自動検索] : 自動で検索します。
- ・ [指定検索]:プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェ クター名を指定して検索します。
- 「プロファイル]:プロファイルとして保存してあるプロジェ クターを検索します。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

- 5 [プロジェクターリスト]から接続するプロジェクターを選択して、次のいずれかの操作を行います。
  - ・出席者全員をモデレーター機能の参加者にしたいとき: [モデレーターとして接続する、または割り込み接続を禁止する] が 選択されていないことを確認して、 [参加] をクリックします。
  - モデレーターとして投写し、他の出席者が投写するのを禁止したいとき: [モデレーターとして接続する、または割り込み接続を禁止する]を選択して、 [参加]をクリックします。





プロジェクター側で「モデレーターパスワード」を設定してい るか、「プロジェクターキーワード」を「オン」にしているとき は、キーワードを入力する画面が表示されます。



6 投写画面上に表示されているプロジェクターキーワードを入力 し、「OK]をクリックします。

接続が完了すると、コンピューターの画面が投写されます。コン ピューターの画面にはツールバーが表示されます。

Epson iProjection Ver. X.XX a 1 全ユーザーの切断

最初に接続したユーザーのコンピューターの画面が全画面表示で投写 されます。後から接続したユーザーは、ツールバーの 🔄 をクリッ クすると、自分の画面を投写できます。また、ツールバーの 🗳 をク リックして投写操作画面を表示してから、投写画面を操作することも できます。



- ・表示されるツールバーは、接続方法またはソフトウェアの形式 によって異なります。
- モデレーター機能を使うと、モデレーターだけが投写画面を操 作できます。

- ・「マニュアルモードで接続するときの設定方法(有線LAN)」 p.16
- 「プロジェクターとの接続を終了する」 p.36
- ・「プロジェクターを検索する」 p.26
- ・「投写する映像を操作する」 p.32
- 「ショートカットを使って検索する」 p.38

- ▶ 関連項目
- ・「マニュアルモードで接続するときの設定方法(無線LAN)」 p.15

接続するプロジェクターのネットワーク環境、または設置場所に応じ てプロジェクターを検索します。

#### ▶ 関連項目

- ・「検索方法」 p.26
- ・「自動で検索する」 p.26
- ・「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」 p.27
- ・「プロファイルを使って検索する」 p.27

## 検索方法

次のいずれかの方法で、接続するプロジェクターを検索できます。お 使いのネットワーク環境に適した方法を選んでください。

 ・
 自動で
 検索する

コンピューターが接続しているネットワーク環境の中で、接続可能 なプロジェクターを自動で検索できます。

検索方法は接続モードによって異なります。

- かんたんモード: SSIDにより接続可能なプロジェクターを検索します。
- マニュアルモード:ネットワーク上の接続可能なプロジェクターを 検索します。同一のサブネット内のプロジェクターを検索できま す。サブネットの異なる場所にあるプロジェクターは検索されません。
- ・IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する 接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、IPアドレスま たはプロジェクター名を指定してプロジェクターを検索できます。IP アドレスを指定すると、サブネットの異なる離れた場所にあるプロ ジェクターも検索できます。
- ・プロファイルを使って検索する

プロジェクター情報をプロファイルとして保存できます。検索時に プロファイルを指定すると、プロジェクターの詳細情報を入力しな くても、プロジェクターを検索できます。プロジェクターを設置し ている場所ごとにプロファイルのグループを作ってフォルダーで管理すると、目的のプロジェクターを素早く見つけることができます。

## 自動で検索する

ネットワーク上の接続可能なプロジェクターを自動で検索します。プロジェクターを選択するだけで、映像を投写できます。

プロジェクター検索画面で [自動検索] をクリックします。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

[更新]をクリックすると、最新の状態が表示されます。

接続するプロジェクターが検索されないときは、他の検索方法を試し てください。

▶ 関連項目

•「検索方法」 p.26

# プロジェクターを検索する

- •「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」 p.27
- ・「プロファイルを使って検索する」 p.27

# IPアドレスまたは プロジェクター名を指定して検索する

接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、IPアドレスまたはプロジェクター名を指定してプロジェクターを検索できます。



[指定検索]は[マニュアルモード]のときのみ実行できます。

## 検索画面で[指定検索]をクリックします。

ユーザー名		プロジェクターリ	スト - 指定検索	-			
XXXXXXX		[				▼ 検索	更新
白新檜壺	(11)	ステータス		プロジェクター名	IPアドレス		
指定検索	(1)	<b>Z</b>	待機中	Mirrord000000000	192.168.20.100	2	00
	107		待機中	Mirrord000000000	192.168.20.101	2	01
		r 🗔	待機中	Mirrord000000000	192.168.20.102	2	02
						(	
		<ul> <li>モデレーターとして接続する、または割り込み接続を禁止する</li> <li>接続プロジェクターリスト</li> </ul>					登録
		I⊽ Mirrord00	000000000000000000000000000000000000000	00 192,168,20,100 201	D		
		•		m			
						1000 m	

 2 接続するプロジェクターのIPアドレスまたはプロジェクター名を 入力して、 [検索] をクリックします。

ユーザー名 XXXXXXXX		プロジェクターリスト - 指定検索 -					
		>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	2000000000				
自動検索	(0)	ステータス		プロジェクター名	IPアドレス	1000	
指定検索	(1)		待機中	Mirrord000000000	192.168.20.100	200	
プロファイル	(0)		待棚中	Mirrord000000000	192.168.20.101	201	
<ul> <li>一日 共有フロファイル</li> <li>一日 ブロファイル</li> </ul>			待機中	Mirrord000000000	192.168.20.102	202	
		•		m.			
		<ul> <li>モデレーター 接続プロジェクタ</li> </ul>	として接続する、 Iーリスト	または割り込み接続を考	禁止する	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
		Mirrord00	000000000000000000000000000000000000000	00 192.168.20.100 20	0		
		•		m			

#### プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

## プロファイルを使って検索する

プロジェクター情報をプロファイルとして保存します。検索時にプロ ファイルを使用すると、プロジェクターの詳細を指定しなくても、プ ロジェクターを検索できます。

#### ▶ 関連項目

- •「プロファイルとは」 p.28
- ・「プロファイルを指定して検索する」 p.28
- ・「プロファイルを登録する」 p.28
- ・「プロファイルをエクスポートする」 p.30
- ・「プロファイルをインポートする」 p.30
- ・「ネットワーク経由でプロファイルを共有する」 p.30

## プロファイルとは

よく使うプロジェクターは、プロファイルとして保存することができ ます。プロファイルとはプロジェクター名、IPアドレス、SSIDなどの プロジェクター情報をひとまとめにしたファイルです。検索時にプロ ファイルを指定すると、IPアドレスやプロジェクター名を指定しなく てもプロジェクターを簡単に検索できます。

登録したプロファイルは、エクスポートしてバックアップとして保存 したり、他のコンピューターにインポートして簡単にプロジェクター を検索したりできます。また、エクスポートしたプロファイルをネッ トワーク経由で共有すると、他の出席者が簡単にプロジェクターを検 索できます。

## プロファイルを指定して検索する

プロファイルを指定して、プロジェクターを検索します。

検索画面で〔プロファイル〕をクリックします。





ューザー名 XXXXXXXX		ブロジェクターリ	ストー プロファイル	-			更新
自動検索	(0)	ステータス		プロジェクター名	IPアドレス		
指定検索	(0)	┌ 🗔	待機中	PrjFileNameMode	192.168.10.10	FFF	
ブロファイル	(0)	┌	待機中	PrjFileName00 (	192.168.10.20	200	
ーロ 共有フロファイル ローロ プロファイル ローフ Boom A		г 🍋	使用中	0000000001 ( EM	192.168.10.21	201	
Projector 1		г 🍋	ミラーリング中	PrjFileName02 (	192.168.10.22	202	
			他アプリ使用中	0000000003 ( EM	192.168.10.23	203	
		<ul> <li>モデレーター 接続プロジェクター</li> </ul>	っとして接続する、ま ターリスト	たは割り込み接続を	禁止する	U2H	<b>カクリア</b> 登録
		•		ш	-+	- N. Elver	

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

#### ▶ 関連項目

・「プロファイルを登録する」 p.28

### プロファイルを登録する

プロジェクターを検索した結果を、プロファイルとして保存します。 分かりやすい名前で保存しておくと、次回からはそのプロファイルを 使ってプロジェクターを簡単に検索できます。



- 1
  - プロジェクターが検索画面に表示されたら、次のいずれかの操作 を行います。
  - ・ [接続プロジェクターリスト] に表示されているプロジェク ターを登録する: [登録] をクリックします。
  - 特定のプロジェクターを登録する: [プロジェクターリスト]
     で登録するプロジェクターを右クリックして、 [この項目をプロファイルに追加]をクリックします。
  - 検索したすべてのプロジェクターを登録する:[プロジェク ターリスト]内のプロジェクターを右クリックして、[全てを プロファイルに追加]をクリックします。



保存画面が表示されます。



保存	×
プロファイルに保存します。	
プロジェクターファイル名	XXXXXXXX
保存場所	
プロファイル	
	新規フォルダー作成
	OK キャンセル

プロファイルが登録され、プロジェクター情報がプロファイルに保存 されます。

# プロジェクターを検索する

## ・フォルダーは6階層まで作成できます。

- 新たにフォルダーを作成するときは、[新規フォルダー作成]
   をクリックします。
- 「プロジェクターリスト」から特定のプロジェクターを「プロファイル」フォルダー内のフォルダーにドラッグ&ドロップして、プロファイルとして登録することもできます。
- ・プロファイルまたはフォルダーをドラッグ&ドロップして、 フォルダー構成を変更できます。

#### プロファイルをエクスポートする

プロファイルをエクスポートして、他のユーザーに配布できます。他 のユーザーがプロジェクターを簡単に検索して、ミーティングに参加 することができます。



プロジェクター検索画面の[共有プロファイル]フォルダーに 含まれるプロファイルは、エクスポートできません。

プロジェクター検索画面の [プロファイル] フォルダーから、共有するプロファイルを含むフォルダーを右クリックして、 [エクスポート] をクリックします。

名前をつけて保存画面が表示されます。

**2** プロファイル(.mplist)を保存する場所を選択して、[保存]を クリックします。

プロファイルがエクスポートされます。

#### ▶ 関連項目

- ・「プロファイルを登録する」 p.28
- ・「プロファイルをインポートする」 p.30
- ・「ネットワーク経由でプロファイルを共有する」 p.30

## プロファイルをインポートする

エクスポートしたプロファイルをお使いのコンピューターにインポートできます。プロジェクターを簡単に検索して、ミーティングに参加 することができます。

- EasyMP Network Projectionでエクスポートしたプロファイル (.plist)をインポートすることもできます。
  - ・プロジェクター検索画面の[共有プロファイル]フォルダーには、プロファイルをインポートできません。
  - ・異なる接続モードで作成されたプロファイルはインポートできません。
- プロジェクター検索画面の [プロファイル] フォルダーから、プ ロファイルをインポートするフォルダーを右クリックして、 [イ ンポート] をクリックします。

ファイルを開く画面が表示されます。

**2** プロファイル (.mplist) を選択して、 [開く] をクリックします。

プロファイルがお使いのコンピューターにインポートされます。

#### ▶ 関連項目

・「プロファイルをエクスポートする」 p.30

## ネットワーク経由でプロファイルを共有する

エクスポートしたプロファイルをネットワーク経由で他のユーザーと 共有できます。プロジェクター情報が更新されたとき、プロファイル を共有しているユーザーの環境では自動で情報が更新されます。Epson iProjectionを起動すると、共有プロファイルが自動で読み込まれて更新 されます。

# プロジェクターを検索する

- 1
  - サーバーなどのネットワークフォルダー上にプロファイルを (.mplist)をおきます。
- 2 プロジェクター検索画面で [オプション設定] をクリックしま す。

オプション設定画面が表示されます。

- 3
  - [ユーザー設定]タブをクリックします。
- - ファイルサーバーの場合(Windowsのみ):
     \\xxxxx\xxxx.mplist

・ Webサーバーの場合: http://xxxxx/xxxxx.mplist

オプション設定				×
ユーザー設定一一般設定	パフォーマンス調整	音声出力	2(言	
ユーザー名	XXXXXXXX			
共有プロファイル名	XXXXXXXX			
指定検索	買UR会L まま			
TELETERSON CONTRACTOR	HIMOR 9 0			
			削除	
	既定値に戻す		ОК	キャンセル

**5** [OK

## [OK] をクリックします。

共有プロファイルが読み込まれ、オプション設定画面が閉じます。



共有プロファイルは読み取り専用で、Epson iProjectionでは編集 できません。

#### ▶ 関連項目

・「プロファイルをエクスポートする」 p.30

ツールバーまたは投写操作画面を使って、投写する映像を操作しま す。

#### ▶ 関連項目

- ・「操作する画面の種類」 p.32
- ・「投写映像を操作する」 p.32
- ・「投写画面の分割数を切り替える」 p.33
- ,「発表者を交代する」 p.34
- ・「投写位置を切り替える」 p.35

## 操作する画面の種類

目的に合わせて、投写映像を操作する画面の種類を選択できます。画面の種類は、ツールバーの 🗳 をクリックするか、投写操作画面の 🗳 をクリックすると切り替えられます。



・ツールバーを使うと、投写画面でコンピューターの映像を広く表示 したり、投写中の映像を一時的に停止、再生したりできます。



・投写操作画面を使うと、投写する画面の分割数切り替え、発表者の 交代、投写位置の切り替えなどができます。

11	ş	<b>1 1 1 1 1</b>	-
ユーザー名	<u>م</u>	83	
88 128	E		0.8 2.4
10+ 10#			
88.85			
D+ #			
PR 8		10 × 10 ×	
UR 807			
80.78			
141 (68)			
108.402	-		モデレーターになる

#### ▶ 関連項目

- •「ツールバー」 p.79
- •「投写操作画面」 p.80

## 投写映像を操作する

自分のコンピューター画面を投写している間、投写状態を操作できま す。

ツールバーまたは投写操作画面で次のいずれかの操作を行います。

・[表示]: 🎴 をクリックします。

コンピューターの画面をそのまま投写します。

## 投写する映像を操作する

・[停止]: 🖾 をクリックします。

投写中の映像が停止します。停止中は、黒い画面が投写されます。

・[一時停止] : 🛄 をクリックします。

投写中の映像の動きが一時的に停止します。コンピューターの画面 を操作しても、一時停止したままの映像が投写されます。

・モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこれらのボタンを使用できません。
 ・モデレーター機能のモデレーターは、投写操作画面で他のユーザーの投写映像も操作できます。

#### ▶ 関連項目

•「投写操作画面」 p.80

## 投写画面の分割数を切り替える

プロジェクターから投写する映像を最大4つに分割できます。分割する 数を切り替えて、複数のコンピューターやタブレット端末の画面を同 時に投写したり、1つの画面を全画面表示で投写したりすることができ ます。







13	ş	<b>A A A B B</b>	
	2		
ユーザー名	î	**	10.00 12.00
24 22			
D0 8			<b>)</b>
P8 8		ALC: 128	
UR 80.			
80.78			
111 158			
(0.8			
108.402	-		モデレーターになる

選択したパネルが青色の枠で囲まれます。

- **3** 投写可能なパネルの数を切り替えるには、次のいずれかの操作を 行います。
  - 1つのパネルを全画面表示で投写する:
     をクリックします。
  - ・ 投写画面を2つに分割して、選択した画面とその左または右隣のパネルを投写する: 22 をクリックします。
  - 投写画面を4つに分割して、4つのパネルすべてを投写する:
     セクリックします。

パネルの数が切り替わり、投写中のパネルの背景色が白色になりま す。



- ・白色のパネルにユーザーがいないときは、黒い画面が投写され ます。
- ・投写されていないパネルの背景色は灰色で表示されます。
- ▶ 関連項目
- 「投写操作画面」 p.80

## 発表者を交代する

ユーザーリストからユーザー名を選択して、投写エリア内のパネルに ドラッグ&ドロップすると、発表者を交代できます。

モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使 用できません。



**2** ユーザーリストに表示されているユーザー名を選択して、投写エリア内の白色のパネルにドラッグ&ドロップします。

*1	<u>a</u>	1 11 <u>11</u>	
ユーザー名		**	
A.A. 16/8 (14. 16/8			
0+ X			
80.78		·	
		214 GB	
C7 80			
art 18	ham		
E770-142			
H8 82	+		モデレーターになる



選択したユーザーのコンピューター画面が投写されます。



2 投写を終了するときは、投写エリア内のユーザー名を選択して、 ユーザーリストにドラッグ&ドロップします。

> 投写エリア内でパネルを右クリックし、「投写終了」をク  $\langle$ リックして、選択したユーザーの投写を終了することもで きます。

ユーザーリスト内で、投写中のユーザー名の背景色は、青色で表示さ れます。投写エリア内のパネルにドラッグ&ドロップされていて、投 写されていないユーザー名の背景色は、灰色で表示されます。

#### ▶ 関連項目

- ・「投写位置を切り替える」 p.35
- ・「サムネイルで参加者の画面を選択して投写する」 p.48

## 投写位置を切り替える

投写エリア内で、ユーザー名を別の位置へドラッグ&ドロップする と、投写位置を切り替えられます。



モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使 用できません。

ツールバーの 🖾 をクリックします。 投写操作画面が表示されます。

## 2 投写エリア内でユーザー名を選択して、別の位置へドラッグ&ド ロップします。

ファイル ツール	切断 ヘルプ		
接続数:49			
88	ş	1 11 11	
	2		
ユーザー名	<u>^</u>		
BB IDA			
10.0 KGR			
88.85			
Do M			10.000
P8 8		ALC: 128	
UR 807			
80.18			
141 188			
10.8			
108 402	-		モデレーターになる
接続プロジェクター名	Entransmith.		(i)

投写位置が切り替わります。



- ▶ 関連項目
- ・「投写画面の分割数を切り替える」 p.33

## プロジェクターとの接続を終了する

投写を終了するとき、1台またはすべてのコンピューターやタブレット 端末をプロジェクターから切断できます。



次のいずれかの操作を行います。

 コンピューターとプロジェクターを切断する:ツールバーの [退出]をクリックします。

お使いのコンピューターとプロジェクターとの接続が終了しま す。





 すべてのコンピューターやタブレット端末とプロジェクターを 切断する:ツールバーの 国 をクリックして、投写操作画面の [切断]メニューから [全ユーザーの切断] をクリックしま す。

#### ミーティングに参加しているすべてのコンピューターやタブ レット端末とプロジェクターとの接続が終了します。

ファイル ツール 切断 ヘルプ 接続数:49 退出		
全ユーザ- (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		6
♪ ユーザー名 ■		
Ad 9/1		
0.0 MBR		
149.38 348.462	モデレーター・	モデレーターをやめる



確認画面が表示されます。

**2** [OK] をクリックします。

プロジェクター検索画面に戻ります。
# 便利な機能を活用する

Epson iProjectionの便利な機能を活用して、効果的なミーティングを実現します。

#### ▶ 関連項目

- ・「ショートカットを使って検索する」 p.38
- ・「USBメモリーを使って接続する (Windowsのみ)」 p.39
- ・「複数のプロジェクターと接続する(ミラーリング)」 p.42
- ・「プロジェクターから音声を出力する」 p.43
- ・「自分の画面を投写する」 p.44
- ・「モデレーターを交代する」 p.45
- ・「投写画面を配信する」 p.47
- ・「サムネイルで参加者の画面を選択して投写する」 p.48
- ・「投写操作画面を隠す」 p.49
- ・「参加者の操作を制限する」 p.50
- ・「通信時の使用帯域を制御する」 p.51
- ・「接続方法」 p.19
- ・「プロジェクターを検索する」 p.26

## ショートカットを使って検索する

ネットワークプロジェクターの情報をショートカットとして保存でき ます。ショートカットをダブルクリックすると、Epson iProjectionが起 動します。プロジェクターの詳細を指定しなくても、起動と同時に保 存したプロジェクターを自動で検索できます。

- ▶ 関連項目
- ・「ショートカットを作成する」 p.38

### ショートカットを作成する

プロジェクターを検索した結果をショートカットとして保存して、次 に同じプロジェクターに接続するときに使用できます。ショートカッ トとは、プロジェクター名やIPアドレスなどのプロジェクター情報を ひとまとめにしたファイルです。フォルダーのショートカットを作成 すると、フォルダーに含まれている複数のプロジェクター情報を保存 します。

プロジェクター検索画面で、「プロファイル」または「プロジェ クターリスト」からプロジェクターまたはフォルダーを選択して 右クリックしてから、「ショートカットの作成」をクリックしま す。

名前をつけて保存画面が表示されます。

**2** ショートカット(.pme)を保存する場所を選択して、 [保存] をクリックします。

ショートカットが作成され、プロジェクター情報がショートカットに 保存されます。  ・ショートカット(.pme)をダブルクリックすると、ショート カットを作成した接続モードでEpson iProjectionが起動しま す。

- [参加専用版] のソフトウェアをお使いの場合は、 [マニュア ルモード] で作成したショートカットを使用してください。
- 「プロファイル」または「プロジェクターリスト」から、プロジェクターまたはフォルダーを選択して、ショートカットを作成する場所にドラッグ&ドロップすることもできます。

市販のUSBメモリーを、プロジェクターのネットワーク情報をWindows コンピューターに転送するUSBキーとして使用できます。USBキーをコ ンピューターに挿すだけで、ネットワーク経由でのプロジェクターの 利用が簡単になります。

#### ▶ 関連項目

- ・「USBキーを作成する(Windowsのみ)」 p.39
- ・「USBキーを使って接続する(Windowsのみ)」 p.39

### USBキーを作成する(Windowsのみ)

市販のUSBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応した Windowsコンピューターとプロジェクターを無線接続します。

USBキーの作成には、以下の条件を満たすUSBメモリーをお使い ください。
・FAT形式でフォーマットされている
・セキュリティ機能が付いていない
USBキーを作成する前に、USBメモリー内のすべてのデータを削 除することをおすすめします。

■ コンピューターで [USBキー作成ツール] を起動します。

- Windows Vista/Windows 7の場合: [スタート] [プログラム] (または [すべてのプログラム]) [EPSON Projector]
   [Epson iProjection] [Tools] [USBキー作成ツール]の順に選択します。
- Windows 8/Windows 8.1の場合: [アプリ] 画面で [USBキー 作成ツール] を選択します。
- Windows 10の場合: [スタート] [EPSON Projector] -[Epson iProjection] - [Tools] - [USBキー作成ツール]の順 に選択します。

- 2 USBキーを挿入したコンピューターで起動するソフトウェアの形式を選択します。
- 空のUSBメモリーをコンピューターのUSB端子に挿入します。

#### 画面の指示に従ってUSBキーを作成します。

USBキーの作成が始まり、USBメモリーにソフトウェアが書き込 まれます。

### ⚠ 注意

USBキーを作成中は、USBメモリーを取り外さないでください。USB メモリーを取り外すと、USBキーが正しく作成されない場合がありま す。USBキーが正しく作成されないときは、USBキーを再度作成して ください。



コンピューターに複数のUSBメモリーを接続しているとき は、画面の指示に従い、使用するUSBメモリーを指定して ください。

5 Windowsタスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] を選 択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。

USBメモリーをUSBキーとしてお使いいただけます。

#### ▶ 関連項目

・「Epson iProjectionの形式」 p.11

### USBキーを使って接続する(Windowsのみ)

作成したUSBキーを使って、プロジェクターをネットワーク経由で簡 単に利用できます。USBキーを使って2回目以降にプロジェクターとコ

## USBメモリーを使って接続する (Windowsのみ)

ンピューターを接続するときは、コンピューターにUSBキーを挿すだ けで接続できます。



- お使いのプロジェクターが、次のいずれかの方法でネットワーク に接続していることを確認してください。
- 無線LANユニットが内蔵されているか、または取り付けられている。
- ・プロジェクターにLANケーブルが接続されている。
- 7 プロジェクターの電源を入れます。
- 3 リモコンの【LAN】ボタンまたは【入力検出】ボタンを押して、 入力信号をLANに切り替えます。 LAN待機画面が表示されます。
- 4

SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。



USBキーをプロジェクターのUSB-A端子に挿入します。

USB-A端子の場所はプロジェクターによって異なります。 詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

ネットワーク情報の更新が終了したことを通知するメッセージが 表示されます。



USBキーを取り外します。

コンピューターのUSB端子にUSBキーを挿入します。





8

 $\langle$ 

- ・Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたと きは、[はい]をクリックしてファイアウォールを無効 にします。
  - コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
  - ・自動的にインストールされないときは、USBキー内の MPPLaunch.exeをダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投 写されます。



9 投写が終了したら、Windowsタスクバーの[ハードウェアの安全 な取り外し]を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外し ます。



 ・コンピューターの接続を切断せずに、他のユーザーと USBキーを共有できます。Epson iProjectionの[オプショ ン設定] 画面で、[USBキーを抜いた時にアプリケー ションを終了する]のチェックを外してください。

・USBキーを使用する前に接続していたアクセスポイント に接続するには、コンピューターの再起動が必要になる ことがあります。 複数のプロジェクターと接続して、同じ映像を投写することをミラー リングと呼びます。最大で4台のプロジェクターとミラーリングできま す。



- ・ ミラーリングは、 [マニュアルモード] で接続しているときの み実施できます。
  - ミラーリングするためには、プロジェクターを有線LANで接続 することをお勧めします。

プロジェクター検索画面で、接続するプロジェクターを4台まで選択して、 [参加]をクリックします。

🛃 Epson iProjection Ve	r. X.XX						×
ユーザー名 XXXXXXXX		プロジェクタール	リスト - 自動検索 -				更新
自動検索	(2)	ステータス		プロジェクター名	IPアドレス		
指定検索	(0)		待機中	EMP_MODERATI	192.168.10.10	FFF	
プロファイル	(2)		待機中	EMP00000000000	192.168.10.20	200	
□ 共有フロファイル □ プロファイル		г 🍋	使用中	EMP00000000000	192.168.10.21	201	
		г 🔁	ミラーリング中	EMP00000000000	192.168.10.22	202	
			他アプリ使用中	EMP00000000000	192.168.10.23	203	
				.00.		U2F03	, UT
		同チデリーター	-21.7.	**************************************	弊止する		
		接続プロジェク	ターリスト	TALES ISAN L.	ALL Y &		登録
		EMP_MOI	DERATION	192.168.10. 192.168.10.20			
				ш			Þ
۰ (	•				オプ		ф

プロジェクターのミラーリンググループが形成され、選択したプロ ジェクターから同じ映像が投写されます。

- ・プロジェクターのミラーリンググループが形成されているとき、グループのいずれか1台のプロジェクターを選択すると、グループを形成しているプロジェクターがすべて選択されます。
  - すでに他の出席者がプロジェクターに接続しているとき、先に 接続した出席者と同じ組み合わせのプロジェクターのみ選択で きます。組み合わせにないプロジェクターとは接続できません。

## プロジェクターから音声を出力する

コンピューターとプロジェクターを1対1で接続して、画面を全画面表 示で投写しているときのみ、プロジェクターから音声を出力できま す。

プロジェクター検索画面で [オプション設定] をクリックします。

オプション設定画面が表示されます。



[音声出力] タブををクリックします。

3 [音声をプロジェクターで出力する]を選択して、 [OK] をク リックします。

オプション設定
ユーザー設定 一般設定 パフォーマンス調整 音声出力 配信
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



[パフォーマンス調整] タブで、 [使用帯域] を256Kbps または512Kbpsに設定しているときは、プロジェクターか ら音声を出力できません。

オプション設定画面が閉じます。

- ▶ 関連項目
- ・「自分の画面を投写する」 p.44
- ・「通信時の使用帯域を制御する」 p.51

他の出席者の画面を投写せず、自分のコンピューターの画面を全画面 表示で投写します。

プロジェクター検索画面で、接続するプロジェクターを選択して、[参加]をクリックします。

ツールバーが表示されます。



・投写操作画面の を使うこともできます。
 ・モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使用できません。

自分のコンピューターの画面が全画面表示で投写されます。

## モデレーターを交代する

モデレーター機能を使用していて、他の出席者が投写映像を操作する とき、モデレーターを交代できます。



モデレーター機能は、通常版のソフトウェアでのみ使用できま す。

- プロジェクター検索画面で、接続するプロジェクターを選択し て、「モデレーターとして接続する、または割り込み接続を禁止 する〕を選択してから、「参加〕をクリックします。 モデレーター機能が有効になり、ツールバーが表示されます。
- 🔰 ツールバーの 国 をクリックします。 投写操作画面が表示されます。

3 モデレーターのコンピューターで、 [モデレーターをやめる] ボ タンをクリックします。



確認画面が表示されます。



[OK] をクリックします。 モデレーター機能が無効になります。



**5** 別の出席者のコンピューターから、投写操作画面の[モデレー ターになる] ボタンをクリックします。

<b>R</b> .I.	<b></b>		
ユーザー名	Â	83	-
(14 K)R	-		
DP R			
PR 8		0× 108	
80.18			
041 MR			
108 407	-		モデレーターになる

確認画面が表示されます。



[OK] をクリックします。

モデレーター機能が再び有効になり、新しいモデレーターが投写映像 を操作できます。

#### ▶ 関連項目

・「ミーティングのスタイルに適した接続方法」 p.19

## 投写画面を配信する

配信機能を使うと、プロジェクターから投写している画面をモデレー ターが参加者の端末に配信できます。





#### 確認画面が表示されます。



2 [開始]をクリックします。

コンピューターの画面に 🍱 と 🗡 が表示されます。



画面の配信が完了すると、モデレーターの画面に配信完了のメッセー ジが表示されます。参加者の端末では自動的にViewerが起動し、配信 された画面が表示されます。

#### ▶ 関連項目

• [Viewer] p.85

## サムネイルで参加者の画面を選択して投写する

モデレーターはサムネイルで参加者の端末の画面を確認し、投写する 画面を選択できます。

- ツールバーまたは投写操作画面の をクリックします。
   サムネイル画面が表示されます。
- 🥥 投写したい12個までのサムネイルにチェックを付けます。



- ・サムネイルを最新の状態に更新するときは
   シをクリックします。
- すべてのサムネイルの選択を解除するときは 2 をクリック します。再度クリックすると、解除する前に選択していたサム ネイルが再び選択されます。
- ・サムネイルのサイズと1ページあたりの表示数を変更するとき
   は、または
   をクリックします。







## 投写操作画面を隠す

自分のコンピューター画面の投写中に、投写操作画面での操作を他の 出席者に見えないようにできます。操作を投写せずに、必要な設定を 変更することができます。ツールバーから投写操作画面に切り替えた ときに、表示している投写中の映像を自動的に一時停止します。ツー ルバーに戻ると、コンピューターの画面が再び投写されます。



モデレーター機能を使用しているとき、モデレーターのみがこ の機能を使用できます。

プロジェクター検索画面で [オプション設定] をクリックします。

オプション設定画面が表示されます。

2 [一般設定] タブをクリックします。

3 [投写操作画面を表示する時に投写画面を一時停止する]を選択して、 [OK] をクリックします。

オプション設定		
ユーザー設定 一般設定 パフォーマンス調整   音声出力   配信		
□ 暗号化通信を行う		
☑ 2画面、4画面時に高解像度で表示する		
✓ 起動時に接続モード選択画面を表示する		
□ デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする		
─────────────────────────────────────		
✓ Easy Interactive Toolsを使用する		
▼インタラクティブペンを使用する		
✓ USBキーを抜いた時にアプリケーションを終了する		
LAN切替		
無線LANバスワードの設定ファイル		
編集 一括削除		
初期値に戻す         OK         キャンセル		

オプション設定画面が閉じます。次回以降、投写操作画面での操作が 投写されなくなります。

## 参加者の操作を制限する

参加者が投写中の映像を変更しないように、モデレーターは参加者の 端末でのマウス操作を制限できます。

- ・投写操作画面の ն をクリックし、参加者のマウス操作をロックします。
- 投写操作画面の ն が 🔒 に変わります。マウス操作がロックされると、参加者の画面に 🔍 が表示されます。
- ・マウス操作のロックを解除するときは、投写操作画面の 6 を押します。

投写操作画面の が い に変わります。参加者の端末でのマウス操作が可能になります。

## 通信時の使用帯域を制御する

ネットワークの負荷を軽減するために、プロジェクターに転送する データサイズを小さくすることができます。データサイズは、通信時 の使用帯域を制限することで小さくなります。

プロジェクター検索画面で [オプション設定] をクリックしま す。

オプション設定画面が表示されます。

- [パフォーマンス調整] タブをクリックします。 2
- 3 [映像品質]を選択します。
  - 「画質優先」:映像の圧縮率を低くし、転送速度よりも画質を 優先します。
  - ・ 「速度優先]:映像の圧縮率を高くし、転送速度を速くしま す。

4

「使用帯域」で使用する帯域を選択します。

オプション設定	X
ユーザー設定 一般設定 パフォーマンス調整 音声出力 配信	
—————————————————————————————————————	
◎ 画質優先	
◎ 速度優先	
使用帯域 制御しない 制御しない 4Mbps	
WUXGAプロジェクジ 512Kbps 256Kbps 256Kbps	
✓ レイヤードウィンドウの転送	
パージョン	
既定値に戻す OK 「キャン	セル

狭い帯域幅を選択すると画質が低下しますが、ネットワーク負荷 が軽減されます。



#### ▶ 関連項目

「使用帯域制御時の制限事項」 p.52

### 使用帯域制御時の制限事項

帯域制御には以下の制限事項があります。

- ・使用帯域を制限すると、転送データの圧縮により画質が低下しま す。
- ・ [パフォーマンス調整] タブで、 [使用帯域] を256Kbpsまたは 512Kbpsに設定しているときは、プロジェクターから音声を出力でき ません。音声を転送したいときは、帯域値を1Mbps以上に設定して ください。
- ・選択する使用帯域は、約30秒間での平均的な帯域値です。帯域制御 中に、一時的に設定した値を超えることがあります。
- ・データ送信時の使用帯域のみ制限できます。サムネイル表示時な ど、データ受信時の使用帯域は制限できません。
- ▶ 関連項目
- ・「プロジェクターから音声を出力する」 p.43

# 困ったときに

想定されるトラブルと、その対処法について説明します。

#### ▶ 関連項目

- ・「ネットワーク接続に関するトラブル」 p.54
- ・「投写中のトラブル」 p.58
- ・「エラーメッセージー覧」 p.60
- ・「Event ID一覧」 p.66

お使いのネットワーク環境に応じた対処方法を確認してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「かんたんモードで接続できない」 p.54
- ・「マニュアルモードで接続できない(無線LAN)」 p.54
- ・「マニュアルモードで接続できない(有線LAN)」 p.56

### かんたんモードで接続できない

かんたんモードでコンピューターとプロジェクターを接続できないと きは、次の対処方法を確認してください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認 する
- ・無線LANユニットが正しく装着されているか確認します。お使いの プロジェクターによって、対応する無線LANユニットは異なりま す。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- コンピューターとプロジェクターの間に障害物がないかを確認し、
   電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。電波
   状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことが
   あります。
- ・ネットワーク機器の電波強度を最大にしてください。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を確認する
- ・ [接続モード] を [かんたんモード] に設定します。
- ・無線LANを有効にします。
- ・セキュリティーの設定をしているときは、コンピューターとプロ ジェクターに同じパスフレーズを設定します。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。
- ・コンピューターのネットワーク設定を確認する
- コンピューターに無線LANアダプターが内蔵されていないときは、
   無線LANカードを装着します。

- ・無線LANの設定、またはコンピューターのAirPortの設定を有効にします。
- ・ソフトウェアの設定を確認する
- ・プロジェクターで設定した接続モードと同じ接続モードでソフト ウェアを起動していることを確認します。接続モードを選択できな い、切り替えられないときは、オプション設定画面の[一般設定] タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを 付けます。ソフトウェアを再起動したときに、接続モードを選択す る画面が表示されます。

#### ▶ 関連項目

「オプション設定 - 一般設定」 p.74

### マニュアルモードで接続できない(無線LAN)

マニュアルモード(無線LAN)でコンピューターとプロジェクターを 接続できないときは、次の対処方法を確認してください。問題が解決 しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認 する
  - ・無線LANユニットが正しく装着されているか確認します。お使いの プロジェクターによって、対応する無線LANユニットは異なりま す。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
  - アクセスポイントとコンピューターやプロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。
- アクセスポイントとコンピューターやプロジェクターが離れすぎて いないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続しま す。
- ・映像の表示が遅いときや、投写映像にノイズが入るときは、 Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確

## ネットワーク接続に関するトラブル

- 認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域 を確保します。
- ・ネットワーク機器の電波強度を最大にしてください。
- アクセスポイントのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを正しい値に設定します。
- ・お使いのアクセスポイントが、プロジェクターの無線LAN規格に対応しているか確認します。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を確認する
- ・ [接続モード] を [マニュアルモード] に設定します。
- ・プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSID を設定します。
- ・ [DHCP] の設定を [オフ] にします。
   [DHCP] を [オン] に設定
   しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、
   LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
- ・プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイア ドレスを正しい値に設定します。
- ・無線LANを有効にします。
- ・無線LAN方式をアクセスポイントが対応している規格に設定しま す。
- ・セキュリティーの設定をしているときは、プロジェクターとコン ピューター、アクセスポイントに同一のパスフレーズを設定しま す。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。
- ・コンピューターのネットワーク設定を確認する
- ・コンピューターに無線LANアダプターが内蔵されていないときは、 無線LANカードを装着します。
- ・無線LANの設定、またはコンピューターのAirPortの設定を有効にします。
- ・プロジェクターが接続しているアクセスポイントに接続します。
- ファイアウォールを解除します。または、ファイアウォールを例外
   に登録します。ファイアウォールを解除または例外に登録したくな

- いときは、ポートを開ける設定をしてください。使用するポートは 3620、3621、3629です。
- ・アクセスポイントの設定を確認する
- ・MACアドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を、プロジェク ターが接続できる設定にします。
- ・ソフトウェアの設定を確認する
- ・オプション設定画面の [LAN切替] で、使用するネットワークアダ プターを選択します。お使いのコンピューターが複数のLAN環境を 持っているときは、使用するネットワークアダプターを正しく選択 していないと接続できません。
- ・接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、[指定検 索]でIPアドレスを指定して検索します。
- ・プロジェクターで設定した接続モードと同じ接続モードでソフト ウェアを起動していることを確認します。接続モードを選択できな い、切り替えられないときは、オプション設定画面の[一般設定] タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを 付けます。ソフトウェアを再起動したときに、接続モードを選択す る画面が表示されます。
- お使いのEpson iProjectionのバージョンにプロジェクターが対応しているか確認してください。Epson iProjectionは、プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMからインストールします。CD-ROMをお持ちでない場合は、エプソンのホームページからダウンロードできます。
- ・すべてのコンピューターに最新のEpson iProjectionをインストール してください。最新のEpson iProjectionをお使いのときでも、プロ ジェクターの機種によって機能制限があります。接続可能台数が異 なったり、モデレーター機能に対応していないことがあります。
- ・複数台のプロジェクターに同じ映像を投写しているとき(ミラーリング時)、はじめに接続したプロジェクターの組み合わせ以外で、 投写中のプロジェクターに接続することはできません。はじめに接続したプロジェクターの組み合わせで接続してください。先に接続したユーザーと同じ組み合わせのプロジェクターを選択するか、待機中のプロジェクターを選択してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「オプション設定 一般設定」 p.74
- ・「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」 p.27

### マニュアルモードで接続できない(有線LAN)

マニュアルモード(有線LAN)でコンピューターとプロジェクターを 接続できないときは、次の対処方法を確認してください。問題が解決 しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認 する
- ・LANケーブルを正しく接続します。

	・市販の100BASE-TX、	または10BASE-TのLANケーブルを使用
$\otimes$	します。	

- カテゴリー5、またはそれ以上のシールドLANケーブルを使用してください。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を確認する
- [DHCP]の設定を[オフ]にします。[DHCP]を[オン]に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
- ・プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイア ドレスを正しい値に設定します。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。
- ・コンピューターのネットワーク設定を確認する
- コンピューターのLANの設定を有効にします。
   Windows Vistaの場合: [コントロールパネル] [システムとメン テナンス] - [デバイスマネージャー]で確認できます。

Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10の場合: [コント ロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスマネー ジャー] で確認できます。

- ファイアウォールを解除します。または、ファイアウォールを例外に登録します。ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。使用するポートは3620、3621、3629です。
- ・ソフトウェアの設定を確認する
- ・オプション設定画面の [LAN切替] で、使用するネットワークアダ プターを選択します。お使いのコンピューターが複数のLAN環境を 持っているときは、使用するネットワークアダプターを正しく選択 していないと接続できません。
- ・接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、[指定検 索]でIPアドレスを指定して検索します。
- ・プロジェクターで設定した接続モードと同じ接続モードでソフト ウェアを起動していることを確認します。接続モードを選択できな い、切り替えられないときは、オプション設定画面の[一般設定] タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを 付けます。ソフトウェアを再起動したときに、接続モードを選択す る画面が表示されます。
- ・お使いのEpson iProjectionのバージョンにプロジェクターが対応しているか確認してください。Epson iProjectionは、プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMからインストールします。CD-ROMをお持ちでない場合は、エプソンのホームページからダウンロードできます。
- ・すべてのコンピューターに最新のEpson iProjectionをインストール してください。最新のEpson iProjectionをお使いのときでも、プロ ジェクターの機種によって機能制限があります。接続可能台数が異 なったり、モデレーター機能に対応していないことがあります。
- ・複数台のプロジェクターに同じ映像を投写しているとき(ミラーリング時)、はじめに接続したプロジェクターの組み合わせ以外で、 投写中のプロジェクターに接続することはできません。はじめに接続したプロジェクターの組み合わせで接続してください。先に接続

## ネットワーク接続に関するトラブル

したユーザーと同じ組み合わせのプロジェクターを選択するか、待 機中のプロジェクターを選択してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「オプション設定 一般設定」 p.74
- •「IPアドレスまたは プロジェクター名を指定して検索する」 p.27

トラブルの状況に応じた解決策を確認してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「画面が正しく投写されない」 p.58
- ・「プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる」 p.58
- ・「モデレーター機能が動作しない」 p.59
- ・「投写画面が配信されない」 p.59

### 画面が正しく投写されない

画面が投写されない、または投写画面にトラブルがあるときは、次の 対処方法を確認してください。

- ・Microsoft Officeのアプリケーションを使用していて投写画面がスムー ズに更新されないときは、マウスカーソルを動かさないようにして ください。マウスを絶えず動かし続けていると、画面がなかなか更 新されないことがあります。
- マウスカーソルがちらつくときは、次の対処方法を確認してください。
- ・オプション設定画面の[一般設定] タブで、[デスクトップ画面の マウスカーソルをきれいにする] にチェックを付けます。
- ・オプション設定画面の [パフォーマンス調整] タブで、 [レイ ヤードウィンドウの転送] のチェックを外します。
- ・コンピューターによっては、Media Playerの動画再生画面が表示され ないことがあります。
- コンピューターによっては、スクリーンセーバーのプレビューが正常に表示されないことがあります。
- ・映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。
- Macの場合、動画再生するときはEpson iProjectionを起動してから再 生操作をしてください。動画再生中にEpson iProjectionを起動した り、表示画面の解像度や色数を変更したときは、動画再生ウィンド

- ウを移動する、または最小化し元に戻す等の操作を行ってください。
- ソフトウェアの動作条件に満たないコンピューターをお使いのとき は、動画の映像や音が止まることがあります。
- 他の出席者がモデレーターになっているときは、投写映像を操作できません。モデレーターを交代するか、モデレーター機能を使わずに画面を投写します。
- ▶ 関連項目
- ・「オプション設定 一般設定」 p.74
- ・「オプション設定 パフォーマンス調整」 p.76
- ・「モデレーターを交代する」 p.45

### プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざ る

プロジェクターから出力される音声にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・音声を転送できるプロジェクターは1台のみです。複数台のプロジェ クターに接続しているときは、他のプロジェクターとの接続を切断 してください。
- ・オプション設定画面の [音声出力] タブで、 [音声をプロジェク ターで出力する] にチェックを付けます。
- ・1台のコンピューターの画面を全画面表示で投写しているときのみプ ロジェクターから音声を出力します。
- ・オプション設定画面の [パフォーマンス調整] タブで、使用帯域を 制限しているときは、帯域を大きくしてください。
- ・コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが混ざることがあります。コンピューターの音量は大きく、プロジェクターの音量は小さく設定してください。

#### ▶ 関連項目

・「オプション設定 - 音声出力」 p.77

### モデレーター機能が動作しない

モデレーター機能が動作しないときは、次の対処方法を確認してください。

- 〔通常版〕のソフトウェアをお使いください。参加専用版のソフト ウェアをお使いの場合は、通常版のソフトウェアを再インストール してください。
- モデレーター機能に対応しているプロジェクターをお使いください。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- ・他の出席者がモデレーターになっているときは、投写映像を操作で きません。モデレーターを交代してください。
- ・プロジェクターに接続するときに、[モデレーターとして接続する、または割り込み接続を禁止する]を選択してください。
- ▶ 関連項目
- ・「モデレーターを交代する」 p.45

### 投写画面が配信されない

配信機能が動作しないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・配信機能に対応しているプロジェクターをお使いください。詳しく は、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- ・プロジェクターで実行中の機能を終了してください。
- ・投写している映像が著作権保護コンテンツでないことを確認してく ださい。
- ▶ 関連項目
- 「投写画面を配信する」 p.47

エラーが発生すると、コンピューターの画面にメッセージが表示され ます。対処方法を確認して、エラーを解除します。

#### ▶ 関連項目

- ・「Epson iProjection起動時のエラーメッセージ」 p.60
- ・「USBキー使用時のエラーメッセージ」 p.62
- ・「プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ」 p.62
- ・「投写時のエラーメッセージ」 p.63
- ・「プロファイル操作時のエラーメッセージ」 p.63
- ・「モデレーター機能使用時のエラーメッセージ」 p.64
- ・「投写画面配信中のエラーメッセージ」 p.65

## Epson iProjection起動時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
このアプリケーションはすでに起動 しています。	Epson iProjectionを二重に起動してい ます。
他のEPSON Projectorソフトウェア(ク イックワイヤレス)が起動しているた め、本アプリケーションは起動でき ません。	クイックワイヤレスを終了してから Epson iProjectionを起動してください。 クイックワイヤレスを終了するに は、タスクバーに表示されているア イコンから[ハードウェアの安全な 取り外し]を選択し、USBキーを取り 外します。

エラーメッセージ	対処法
他のEPSON Projectorソフトウェア (USB Display)が起動しているため、本 アプリケーションは起動できませ ん。	USBディスプレイを終了してから Epson iProjectionを起動してくださ い。 次のいずれかの方法で、USBディスプ レイを終了します。
	・Windowsの場合:プロジェクターか らUSBケーブルを取り外します。
	・Macの場合:メニューバーまたは Dockの[USB Display]アイコンか ら[切断]を選択します。その後 にUSBケーブルを取り外します。
他のEPSON Projectorソフトウェア (EasyMP Network Projection)が起動し ているため、本アプリケーションは 起動できません。	EasyMP Network Projectionを終了して からEpson iProjectionを起動してくだ さい。
他のEPSON Projectorソフトウェア (USBキー作成ツール)が起動してい るため、本アプリケーションは起動 できません。	USBキー作成ツールを終了してから Epson iProjectionを起動してくださ い。
Epson iProjectionの初期化に失敗しました。	Epson iProjectionを再起動してくださ い。それでもメッセージが出るとき は、Epson iProjectionをいったんアン インストールして、その後もう一度 Epson iProjectionをインストールして ください
ショートカットファイルが開けませ んでした。	ショートカットファイルが壊れてい る可能性があります。Epson iProjectionを起動し、再度プロジェク ターを検索して接続してください。

エラーメッセージ	対処法
ショートカットファイルのプロジェ クターが見つかりませんでした。再 検索してください。	<ul> <li>次の点を確認します。</li> <li>ショートカットを作成したときと同じ接続モードでショートカットを開いてください。</li> <li>「参加専用版]のソフトウェアをお使いの場合は、[マニュアルモード]で作成したショートカットを使用してください。</li> </ul>
必要なファイルがないか不正がある ためアプリケーションを起動できま せん。再度インストールしてくださ い。	Epson iProjectionをいったんアンイン ストールして、その後もう一度Epson iProjectionをインストールしてくださ い
ネットワークアダプターの情報取得 に失敗しました。	次の点を確認します。 ・コンピューターにネットワークア ダプターが装着されている ・コンピューターに、使用するネッ トワークアダプターのドライバー がインストールされている ・ネットワークアダプターが有効に なっている 確認後、コンピューターを再起動し て、もう一度接続の操作を行いま す。 それでも接続できないときは、コン ピューター側のネットワーク設定と プロジェクター側のネットワーク設 定を確認してください。

エラーメッセージ	対処法
投写中のためショートカット起動で きません。	投写をいったん終了して、その後 ショートカットから起動してくださ い。すでにEpson iProjectionを使って プロジェクターに投写しているとき は、ショートカットから起動できま せん。
オプション画面表示中のためショー トカット起動できません。オプショ ン画面を閉じ、再度ショートカット 起動をして下さい。	オプション設定画面が表示されま す。オプション設定画面を閉じてく ださい。
PowerPointを再起動しないと、スラ イドショーが実行できない場合があ ります。	PowerPointをいったん終了して、そ の後もう一度起動してください。
ご使用のOSバージョンでは使用でき ません。Epson iProjectionをインス トールしなおしてください。	Epson iProjectionをインストールしな おしてください。
プロジェクターに接続中のため、 ショートカット起動できません。	投写をいったん終了して、その後 ショートカットから起動してくださ い。USBキーを挿しているときは、 USBキーを取り外してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「Epson iProjectionをアンインストールする(Windows Vista/Windows 7/Windows 10)」 p.87
- ・「Epson iProjection をアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)」 p.87
- ・「Epson iProjectionをアンインストールする(Mac)」 p.88
- ・「Epson iProjectionをインストールする(Windows)」 p.11
- ・「Epson iProjectionをインストールする(Mac)」 p.11

## USBキー使用時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
接続情報が見つかりませんでした。 USBキーを挿してください。	コンピューターにUSBキーをしっかり と挿入してください。
接続情報が見つかりませんでした。 USBキーをプロジェクターに挿してく ださい。	プロジェクターにUSBキーをしっかり と挿入し、プロジェクターのネット ワーク情報を更新してください。
かんたんモードで接続できるプロ ジェクターが見つかりません。	Epson iProjectionを終了してから、再 度USBキーを挿入してください。
マニュアルモードで接続できるプロ ジェクターが見つかりません。	
アプリケーション起動中はUSBキーを 使用できません。	
参加専用版で接続できるプロジェク ターが見つかりません。	マニュアルモードでプロジェクター がネットワークに接続されているこ とを確認し、USBキーに保存されたプ ロジェクターのネットワーク情報を 更新してください。

エラーメッセージ	対処法
必要なファイルがないか不正があり ます。アプリケーションを起動でき ません。USBキーを再度作成してくだ さい。	USBメモリー内のすべてのデータを削 除し、USBキー作成ツールからUSB キーを再度作成してください。
USBキーの作成に失敗しました。必要 なファイルがないか不正がありま す。Epson iProjectionをインストール しなおしてください。	
USBキーの作成に失敗しました。USB メモリーを挿しなおし、USBキー作成 ツールを再度実行してください。	
USBキーの作成に失敗しました。空き 容量を確認してください。必要な容 量:150MB	
USBキー作成ツールを実行するために は、管理者権限が必要です。	管理者権限でUSBキー作成ツールを実 行してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「USBキーを作成する(Windowsのみ)」 p.39
- ・「USBキーを使って接続する(Windowsのみ)」 p.39

## プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
最大参加数を超えています。参加で きません。	プロジェクターがサポートしている 接続最大数のコンピューターやタブ レット端末がすでに接続されていま す。画面を投写しないユーザーとプ ロジェクターとの接続を切断してく ださい。

エラーメッセージ	対処法
プロジェクターキーワードが一致し ません。再入力してください。 プロジェクターキーワードが間違っ ていたため培繕できませんでした	投写画面上に表示されているプロ ジェクターキーワードを入力してく ださい。
選択されたプロジェクターは別のプ ロジェクターとミラーリング中で す。	複数台のプロジェクターに同じ映像 を投写しているとき(ミラーリング 時)、はじめに接続したプロジェク ターの組み合わせ以外で、投写中の プロジェクターに接続することはで きません。はじめに接続したプロ ジェクターの組み合わせで接続して ください。
応答しないプロジェクターが存在し ます。	複数のプロジェクターに同時に接続 できませんでした。コンピューター とプロジェクターがネットワークに 接続されているか確認してくださ い。
ネットワークエラーが発生しまし た。	コンピューターの無線LANスイッチを オンにしてから、再度プロジェク ターの検索をしてください。それで も接続できないときは、コンピュー ター側のネットワーク設定とプロ ジェクター側のネットワーク設定を 確認してください。
プロジェクターとの接続に失敗しま した。	接続するプロジェクターがEasyMP Network Projectionで接続されていな いか確認してください。EasyMP Network Projectionで接続しているプ ロジェクターには接続できません。

#### ▶ 関連項目

- ・「Epson iProjectionをアンインストールする(Windows Vista/Windows 7/Windows 10)」 p.87
- ・「Epson iProjection をアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)」 p.87
- ・「Epson iProjectionをアンインストールする(Mac)」 p.88
- ・「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 p.87
- ・「Epson iProjectionをインストールする(Windows)」 p.11
- ・「Epson iProjectionをインストールする(Mac)」 p.11
- ・「対応解像度と表示色」 p.89

### 投写時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
プロジェクター側から切断されまし た。	プロジェクターにエラーが発生して いる可能性があります。プロジェク ターのインジケーターを確認してく ださい。
ネットワークエラーが発生しまし た。	再度、接続の操作をします。それで も接続できないときは、コンピュー ター側のネットワーク設定とプロ ジェクター側のネットワーク設定を 確認してください。

## プロファイル操作時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
入力できる文字数は32文字以内で す。	入力した文字が32文字を超えていま す。32文字以下の名称に変更してく ださい。

エラーメッセージ	対処法
フォルダー名を入力してください。	フォルダー名が入力されていませ ん。フォルダー名を入力してくださ い。
フォルダー階層は6階層以内です。	フォルダーが6階層を超えています。 より上位のフォルダーに新規フォル ダーを作成してください。
このフォルダーには既にXXXフォル ダーが存在します。	同じ名前のフォルダーが存在してい ます。別の名前を指定してくださ い。
このフォルダーには既にXXXプロジェ クターファイルが存在します。	同じ名前のプロジェクターが存在し ています。別の名前を指定してくだ さい。
アプリケーションで利用できない フォーマットのため、インポートで きませんでした。	インポートするプロファイルを確認 してください。プロジェクター情報 が登録されていないときやプロファ イルが壊れているときはインポート できません。
フォルダー階層が6階層を超えるため インポートできません。	フォルダーのインポート、移動、コ ピーをすると、フォルダーが6階層を
フォルダー階層が6階層を超えるため 移動できません。	超えます。より上位のフォルターに インポート、移動、コピーしてくだ さい。
フォルダー階層が6階層を超えるため コピーできません。	
ファイルを開くことができません。	プロファイルが壊れている可能性が あります。再度、プロファイルをイ ンポートしてください。
ファイルに保存できません。	保存先のフォルダーにアクセス権が あることを確認して、再度プロファ イルを保存してください。

エラーメッセージ	対処法
接続モードが異なるため、インポー トできない項目があります。	プロファイルを作成したときの接続 モードで、プロファイルをインポー トしてください。

#### ▶ 関連項目

・「プロファイルを登録する」 p.28

・「プロファイルをインポートする」 p.30

## モデレーター機能使用時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
モデレーターになることができませ んでした。	他の出席者がモデレーターになって いるときは、モデレーターになれま せん。モデレーターを交代してくだ さい。
モデレーターモードへの切り替えに 失敗しました。	他の出席者がモデレーターになって いないことを確認して、再度、操作 してください。
モデレーター機能を使用することは できません。参加者として接続しま した。	接続しているプロジェクターはモデ レーター機能に対応していません。 モデレーター機能を使用するには、 この機能に対応しているプロジェク ターに接続します。

#### ▶ 関連項目

・「モデレーターを交代する」 p.45

## 投写画面配信中のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
プロジェクターが処理中です。しば	プロジェクターで実行中の機能を終
らく経ってから配信してください。	了して、再度配信してください。
現在投写されている映像は配信でき ません。	投写している映像が著作権保護コン テンツでないことを確認してくださ い。
配信中にネットワークエラーが発生	モデレーターがプロジェクターに接
しました。再度配信してください。	続しているか確認してください。
受信ファイルを保存できませんでし	保存先フォルダーに十分な空き容量
た。空き容量を確認してください。	があることを確認してください。
受信ファイルを保存できませんでし	オプション設定画面の[配信]タブ
た。保存先フォルダーのアクセス権	で、保存先フォルダーの場所を確認
を確認してください。	し、保存先フォルダーへのアクセス
受信ファイルを保存できませんでし た。フォルダー設定を確認してくだ さい。	権があることを確認してください。

#### ▶ 関連項目

・「投写画面を配信する」 p.47

接続に関するトラブルが生じると、トラブルの内容を示す番号が次の ように表示されます。

#### Event ID: 04xx

番号を確認して次のとおり対処してください。問題が解決しないとき は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、プロジェクター の『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	要因	対処法
0432	ネットワークソフトウェアの起	プロジェクターを再起動してく
0435	動に失敗しました。	ださい。
0434	ネットワークの通信状態が不安	ネットワークの通信状態を確認
0481	定です。	して、しばらくしてから冉接続 してください。
0482		
0433	転送された画像を再生できませ ん。	ネットワークソフトウェアを再 起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断 されました。	
04FE	ネットワークソフトウェアが予 期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認 して、プロジェクターを再起動 してください。
04FF	プロジェクターにシステムエ ラーが発生しました	プロジェクターを再起動してく ださい。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが 見つかりません。	プロジェクターとコンピュー ター、アクセスポイントに同一 のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致し ません。	無線LANセキュリティーの設定 が正しいか確認してください。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一 致しません。	

Event ID	要因	対処法
0894	不正なアクセスポイントに接続 したため通信が切断されまし た。	ネットワーク管理者に確認して 指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作して いるか確認してください。ま た、LANケーブルが確実に接続 されているか確認してくださ い。DHCPを使用しないときは、 [DHCP]の設定を[オフ]にし てください。
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネット ワークソフトウェアを再起動し ても問題が解決しないときは、 プロジェクターの『取扱説明 書』に記載の連絡先にお問い合 わせください。
089A	EAP認証方式が不一致です。	無線LANセキュリティーの設定
089B	EAPのサーバー認証が失敗しまし た。	が正しいか確認してください。 また、証明書が適切にインス トールされているか確認してく ださい。
089C	EAPのクライアント認証が失敗し ました	
089D	鍵交換が失敗しました。	

# Event ID一覧

Event ID	要因	対処法
0B01	内蔵ストレージが正常に検出さ れませんでした。	[内部ストレージを全て削除] を実行してください。正常に終 了した場合は、プロジェクター のコンセントを差し直して起動 してください。正常に終了しな い場合は、プロジェクターの 『取扱説明書』に記載の連絡先 にお問い合わせください。 [拡張設定] - [ホワイトボー ド設定画面へ] - [内部スト レージ]の順に進んで、設定し ます。
OBFF	ホワイトボード機能にエラーが 発生しました。	プロジェクターを再起動してく ださい。

# 各画面の説明

Epson iProjectionの各画面の項目を説明します。

#### ▶ 関連項目

- ・「接続モード選択画面」 p.69
- ・「プロジェクター検索画面」 p.70
- ・「保存画面」 p.72
- ・「オプション設定」 p.73
- ・「ツールバー」 p.79
- ・「投写操作画面」 p.80
- ・「サムネイル画面」 p.83
- [Viewer] p.85

#### Epson iProjectionを起動すると、接続モード選択画面が表示されます。



0	接続モードを選択します。	
2	今回選択した接続モードで次回も接続したいときに、チェックを付けま す。	

#### ▶ 関連項目

・「使用するネットワーク環境に適した接続方法」 p.13

### Epson iProjectionを起動すると、検索画面が表示されます。



0	ユーザー名	投写操作画面のユーザーリストに表示するユーザー 名が表示されます。ユーザー名は、オプション設定 画面の[ユーザー設定]タブで設定できます。
2	自動検索	コンピューターが接続しているネットワーク上のプ ロジェクターを検索します。
3	指定検索(マニュ アルモードのみ)	プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェク ター名を指定してネットワーク上のプロジェクター を検索します。
4	プロファイル	事前に保存したプロジェクター情報を使ってネット ワーク上のプロジェクターを検索します。
5	プロファイルリス ト	登録されているプロファイル(プロジェクター情 報)が表示されます。プロファイルをダブルクリッ クすると、プロファイルに登録されているネット ワーク上のプロジェクターを検索します。
6	オプション設定	オプション設定画面を表示します。

7	参加	選択したプロジェクターと接続します。
8	接続プロジェク ターリスト(マ ニュアルモードの み)	[プロジェクターリスト] で選択したプロジェク ターが表示されます。検索方法を切り替えても、 [接続プロジェクターリスト]の内容は保持されま す。
9	登録(マニュアル モードのみ)	[接続プロジェクターリスト]のプロジェクターを プロファイルに登録します。
0	モデレーターとし て接続する、また は割り込み接続を 禁止する	プロジェクターリストで選択したプロジェクターに モデレーターとして接続し、他のユーザーからの接 続を禁止します。(対応機種のみ) モデレーター機能は、通常版のソフトウェアでのみ 使用できます。
0	リストのクリア	[プロジェクターリスト]、[接続プロジェクター リスト]に表示されている情報を削除します。
(2)	プロジェクターリ スト	ネットワーク上で見つかったプロジェクターが表示 されます。接続するプロジェクターを選択します。 各検索方法([自動検索]/[指定検索]/[プロ ファイル])での検索結果はそれぞれ別のリストで 表示されます。

		<ul> <li>「ステータス]:プロジェクターの状態を示しま す。アイコンについての詳細は下記の表をご覧く ださい。</li> <li>「プロジェクター名]:プロジェクターの名前が 表示されます。</li> <li>[SSID] (かんたんモードのみ):プロジェク ターのSSIDが表示されます。</li> <li>[信号強度] (かんたんモードのみ):信号強度 を表示します。信号強度が強いほど、点灯してい るインジケーターの数が多くなります。</li> <li>[IPアドレス] (マニュアルモードのみ):プロ ジェクターのIPアドレスが表示されます。</li> <li>[コメント]:プロジェクターの補足情報が表示 されます。補足情報を編集するときは、プロファ イルを右クリックして[プロパティー]をクリッ クします。最大32文字まで入力できます。</li> </ul>
13	更新	[プロジェクターリスト]の情報を最新に更新しま す。
4	指定検索ボックス (マニュアルモー ドのみ)	[指定検索]のときに、プロジェクターのIPアドレ スまたはプロジェクター名を入力します。[検索] ボタンをクリックして、指定したプロジェクターを 検索します。

[プロジェクターリスト]でプロジェクターの状態を示すアイコンの 詳細は、次のとおりです。

Ō	選択できます。プロジェクターに接続できます。
待機中	
<b>1</b>	選択できます。他のコンピューターがプロジェクターに 接続していますが、同時に接続できます。
使用中	

こうーリング中	選択できます。同じ映像を投写しているプロジェクター (ミラーリング中)のグループに接続できます。
<ul><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li><li>(1)</li></ul>	選択できません。プロジェクターでネットワーク設定メ ニューを表示中です。または、他のプロジェクターソフ トウェアが、このプロジェクターを使用しています。
<b>2</b> 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	選択できません。 [指定検索] や [プロファイル] 検索 でプロジェクターを検索中です。
<b>?</b> 見つかりません	選択できません。[指定検索]や[プロファイル]検索 で指定したプロジェクターが見つかりません。
<b>බා</b> 非対応プロジェク ター	選択できません。プロジェクターがEpson iProjectionに対 応していません。
<ul><li>、</li><li>未取得</li></ul>	選択できます。かんたんモード時に、セキュリティー設 定されているプロジェクターが見つかったときに表示さ れます。

#### ▶ 関連項目

- ・「自動で検索する」 p.26
- 「IPアドレスまたは プロジェクター名を指定して検索する」 p.27
- ・「プロファイルを使って検索する」 p.27
- ・「ショートカットを使って検索する」 p.38
- ・「オプション設定」 p.73

### プロジェクター検索画面でプロジェクターを検索しプロファイルとし て保存するとき、保存画面が表示されます。

	保存 22
	プロファイルに保存します。
0	プロジェクターファイル名 XXXXXXXX
	保存場所
	プロファイル
2	
3	新規フォルダー作成
4	OK         キャンセル

0	プロジェクター ファイル名	プロジェクターファイル名を入力してください。
2	保存場所	プロファイルの保存場所を選択します。
3	新規フォルダー作 成	新しいフォルダーを作成します。
4	ОК	プロジェクター情報をプロファイルに登録しま す。

- ▶ 関連項目
- ・「プロファイルを登録する」 p.28
Epson iProjectionのプロジェクター検索画面で [オプション設定] をク リックすると、オプション設定画面が表示されます。



 ・ 投写操作画面の [ツール] メニューからもオプション設定画面 を表示できます。投写操作画面からオプション設定画面を表示 したときは、 [ユーザー設定] タブは表示されません。
 ・ 設定できる項目はソフトウェアの形式によって異なります。

### ▶ 関連項目

- ・「オプション設定 ユーザー設定」 p.73
- ・「オプション設定 一般設定」 p.74
- ・「オプション設定 パフォーマンス調整」 p.76
- ・「オプション設定 音声出力」 p.77
- ・「オプション設定 配信」 p.78
- ・「プロジェクター検索画面」 p.70
- •「ツールバー」 p.79

## オプション設定 - ユーザー設定

オプション設定画面で[ユーザー設定]タブをクリックすると、次の 画面が表示されます。

オプション設定					×
ユーザー設定	一般設定 パン	フォーマンス調整	音声出力	配信	
		00000004			
ユーザー名		*******			
共有プロファー	んん名				
指定検索一					
指定検索の	)入力履歴を削り	紀ます。			
				肖顺	<u></u>
	21	1期値に更す		OK	<u> まゎ`ノヤz  ノ</u>
	17				

ユーザー名	投写操作画面のユーザーリストに表示するユー
	ザー名を入力してください。最大32文字まで入力
	できます。この設定は、プロジェクター検索画面
	のユーザー名と同期します。

共有プロファイル名 (マニュアルモードの み)	共有プロファイルを保存したネットワーク上の場 所またはURL(プロファイル名を含める)を入力し ます。 ・ファイルサーバーの場合(Windowsのみ): \\xxxxx\xxxxx.mplist ・Webサーバーの場合・http://xxxxx/xxxxx mplist
削除(マニュアルモー ドのみ)	[指定検索]の入力履歴を削除します。
初期値に戻す	[一般設定]の[LAN切替]を除く、[オプショ ン設定]のすべての設定を初期化します。

### ▶ 関連項目

- ・「プロジェクター検索画面」 p.70
- ・「投写操作画面」 p.80
- 「自動で検索する」 p.26
- ・「ネットワーク経由でプロファイルを共有する」 p.30

## オプション設定 - 一般設定

オプション設定画面で[一般設定]タブをクリックすると、次の画面 が表示されます。



暗号化通信を行う	チェックを付けるとデータを暗号化して送信しま す。データを傍受されても、解読されません。
2画面、4画面時に高解 像度で表示する	解像度がWUXGA(1920×1200)のプロジェクター のみ
	投写画面を分割したときに、各画面を高解像度で 表示します。
	投写映像の表示が遅れたり途切れたりするとき は、チェックを外します。

起動時に接続モード選 択画面を表示する	ソフトウェアの起動時に、接続モード選択画面を 表示する場合はチェックを付けます。 起動方式が決まっている場合はチェックを外して ください。
デスクトップ画面のマ ウスカーソルをきれい にする	Windows Vista/Windows 7のみ [パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィ ンドウの転送]にチェックを付けて投写するとき に、マウスカーソルのちらつきを防ぎます。 (Windows VistaとWindows 7でウィンドウデザイ ンをWindows Aeroに指定しているとき、この項目 を選択するとWindows Aeroが無効になります。)
投写操作画面を表示す る時に投写画面を一時 停止する	モデレーター機能を使用しているとき、モデレー ターのみがこの機能を使用できます。 自分のコンピューター画面の投写中に、投写操作 画面での操作を他の出席者に見せたくないときに チェックを付けます。
Easy Interactive Tools を使用する	Windowsのみ Easy Interactive Toolsをソフトウェアと同時に使用 するときにチェックを付けます。 この設定は、[パフォーマンス調整]タブの[レ イヤードウィンドウの転送]と同期します。
インタラクティブペン を使用する	チェックを付けると、ネットワーク経由でインタ ラクティブ機能を使用できます。USBケーブルでプ ロジェクターとコンピューターを接続する必要は ありません。(対応機種のみ) 同時に使用できるデバイスは以下の通りです。 ・Windows:ペン2本、タッチ6点 ・Mac:マウス1個
USBキーを抜いた時にア プリケーションを終了 する	USBキーを取り外したときの接続状況を設定しま す。コンピューターの接続を切断せずに、他の ユーザーとUSBキーを共有するときは、チェックを 外してください。

LAN切替	Windowsのみ 複数のアダプターを使えるコンピューターで、検 索に使うアダプターを切り替えるときに使いま す。 初期設定ではすべてのネットワークアダプターを 使用して検索します。
無線LANパスワードの設 定ファイル(かんたん モードのみ)	かんたんモードでセキュリティーが設定されたプ ロジェクターを接続するときに、SSIDとパスフ レーズをコンピューターに登録できます。ここで は登録した情報の編集と削除ができます。 編集:コンピューターのワイヤレスネットワーク 管理画面が表示されます。 一括削除:登録したSSIDとパスフレーズを全て削 除します。
初期値に戻す	[一般設定]タブの[LAN切替]を除く、[オプ ション設定]のすべての設定を初期化します。

### ▶ 関連項目

・「投写画面の分割数を切り替える」 p.33

・「投写操作画面を隠す」 p.49

オプション設定

オプション設定 - パフォーマンス調整

オプション設定画面で[パフォーマンス調整] タブをクリックする と、次の画面が表示されます。

オプション設定
ユーザー設定 一般設定 パフォーマンス調整 音声出力 配信
映像品質
◎ 画質優先
◎ 速度優先
使用帯域 制御しない ▼
プロジェクター1台あたり
WUXGAプロジェクター
── 解像度を下げて転送する
☑ レイヤードウィンドウの転送
リバージョン
初期値に戻す OK キャンセル

映像品質	投写映像の品質と転送速度の優先度を設定しま す。
	・[画質優先] : 映像の圧縮率を低くし、転送速 度よりも画質を優先します。
	・[速度優先]:映像の圧縮率を高くし、転送速 度を速くします。

使用帯域	データ転送時の使用帯域を制御します。狭い帯域 幅を選択すると画質が低下しますが、ネットワー ク負荷が軽減されます。
解像度を下げて転送す る	解像度がWUXGA(1920 × 1200)のプロジェクター で、[使用帯域]を1Mbps以上に設定していると きのみ
	チェックを付けると投写対象の画面の解像度を下 げて、プロジェクターに転送するデータを小さく します。ネットワークが遅いときや投写映像の表 示が遅れたり途切れたりするときに使用します。
レイヤードウィンドウ の転送	Windows 7 (ウィンドウデザインを[Windows 7 ベーシック]に設定時)のみ
	レイヤードウィンドウを使用すると、コンピュー ター画面に表示されているメッセージなどはプロ ジェクターで投写されません。異なるレイヤーの ウィンドウの内容を投写するときに、チェックを 付けてください。
	コンピューターの画面上でマウスカーソルのちら つきが気になるときは、 [一般設定] タブの [デ スクトップ画面のマウスカーソルをきれいにす る] にチェックを付けます。
バージョン	Epson iProjectionのバージョン情報を表示します。
初期値に戻す	[一般設定]タブの[LAN切替]を除く、[オプ ション設定]のすべての設定を初期化します。

### ▶ 関連項目

- ・「投写画面の分割数を切り替える」 p.33
- ・「自分の画面を投写する」 p.44
- ・「通信時の使用帯域を制御する」 p.51

オプション設定

## オプション設定 - 音声出力

オプション設定画面で[音声出力]タブをクリックすると、次の画面 が表示されます。

オプション設定	×
ユーザー設定 一般設定 パフォーマンス調整 音声出力 配信	
☑ 音声をプロジェクターで出力する	
初期値に戻す OK キャンセ	zil

音声をプロジェクター コンピューターの音声を転送してプロジェクター で出力する で出力するときに、チェックを付けます。チェッ クを外すと、音声はコンピューターから出力され ます。 AN AN ・1台のコンピューターの画面を 全画面表示で投写しているとき のみプロジェクターから音声を 出力します。 「パフォーマンス調整」タブ で、 [使用帯域] を [256Kbps] または [512Kbps] に設定しているときは、プロ ジェクターから音声を出力でき ません。 「一般設定」タブの「LAN切替」を除く、「オプ 初期値に戻す ション設定〕のすべての設定を初期化します。

#### ▶ 関連項目

- ・「プロジェクターから音声を出力する」 p.43
- ・「通信時の使用帯域を制御する」 p.51

オプション設定

# オプション設定 - 配信

オプション設定画面で [配信] タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

オプション設定
ユーザー設定 一般設定 バフォーマンス調整 音声出力 配信
受信設定
☑ 受信した画像をビューアーで表示する
保存先フォルダー
保存先フォルダーを開く
▼ モデレーターのモニタリングを許可する

受信した画像をビュー	受信した画像を、Epson iProjectionのViewerで開く
アーで表示する	ときにチェックを付けます。

保存先フォルダー	受信した画像の保存先フォルダーを表示します。 保存先フォルダーは以下の通りです。
	<ul> <li>[Windows]</li> <li>&lt;起動ドライブ&gt;:\users\&lt;ユーザー名&gt;\Documents</li> <li>\Epson iProjection</li> <li>[Mac]</li> </ul>
	<起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Pictures \Epson iProjection
保存先フォルダーを開 く	受信した画像の保存先フォルダーを開きます。
モデレーターのモニタ リングを許可する	コンピューターの画面をサムネイルとしてモデ レーターに送信するときにチェックを付けます。
初期値に戻す	[一般設定]タブの[LAN切替]を除く、[オプ ション設定]のすべての設定を初期化します。

### ▶ 関連項目

・「投写画面を配信する」 p.47

Epson iProjectionを起動してプロジェクターと接続すると、コンピュー ターの画面にツールバーが表示されます。このツールバーを使って、 投写中の映像を操作したり、ネットワーク接続を切断したりできま す。

Epson iProjection Ver. X.XX	
	全ユーザーの切断



表示されるツールバーは、接続方法、ソフトウェアの形式、モ デレーター権限の有無によって異なります。

▶	[停止]や[一時停止]を解除し、コンピュー
表示	ターの画面を投写します。
<b>区</b>	プロジェクターと接続したまま投写を停止しま
停止	す。停止中は、黒い画面が投写されます。
□□ 一時停止	投写中のコンピューターの画面を静止します。コ ンピューターの画面を操作しても、投写映像は静 止したままになります。
しま	プロジェクターから投写している画面を参加者の
投写画面を配信	端末に配信します。
<b>しま</b>	モデレーターの画面上で、参加者の画面をサムネ
サムネイルを表示	イル表示します。

	受信した画像をViewerで表示します。
受信画像を表示	
<b>Q</b>	自分のコンピューターの画面を全画面表示で投写 します。
自分の画面を投写	
退出	コンピューターとプロジェクターとの接続を切断 します。
全ユーザーの切断	ミーティングに参加しているすべてのコンピュー ターやタブレット端末とプロジェクターとの接続 を切断します。
R	投写操作画面に切り替えます。
投写操作画面に切り替 え	
í	プロジェクターのネットワーク情報を表示しま す。[プロジェクターキーワード]には、プロ
プロジェクター情報	ジェクターに接続したときに入力したキーワード が表示されます。
	: プロジェクターキーワードが設定されていま せん。
	[不明]: QRコードの読み取りやUSBキーの挿入な どにより、プロジェクターキーワードを入力せず に接続しているため、プロジェクターキーワード を取得できません。

### ▶ 関連項目

- ・「投写操作画面」 p.80
- ・「投写映像を操作する」 p.32
- ・「自分の画面を投写する」 p.44
- ・「プロジェクターとの接続を終了する」 p.36

# 投写操作画面



 ・投写操作画面は、通常版のソフトウェアでのみ使用できます。
 ・お使いのプロジェクターやモデレーター権限の有無によって、 投写操作画面に表示される項目が異なります。

0	ファイルメニュー	[終了]を選択すると、ソフトウェアが終了しま す。
	ツールメニュー	次の項目が選択できます。
		<ul> <li>〔ユーザーの操作を禁止する〕:参加者のマウス 操作をロックします。</li> </ul>
		<ul> <li>         ・ [ユーザーの操作を許可する] :参加者のマウス 操作のロックを解除します。     </li> </ul>
		<ul> <li>         ・         [白紙を配信]         :         参加者が自由に書き込めるよう         に、         参加者の端末に白紙を配信します。         </li> </ul>
		<ul> <li>         ・         「受信画像を表示         ):         受信した画像をViewerで表         示します。         ・     </li> </ul>
		・[オプション設定] : オプション設定画面を表示 します。
	切断メニュー	[退出]または[全ユーザーの切断]を選択しま す。
	ヘルプメニュー	[バージョン情報]を選択します。
2	接続数	プロジェクターに接続しているユーザーの数を表示 します。
3	ユーザー情報	ユーザー名と投写状態を表示します。自分のコン ピューターの画面が投写中の場合は、青色で表示さ れます。投写エリア内のパネルにドラッグ&ドロッ プされていて、投写されていない場合は、灰色で表 示されます。
4	ユーザー検索ボッ クス	検索するユーザー名を入力して、 🧖 をクリックし ます。検索結果がユーザーリストに表示されます。
		元のユーザーリストに戻すときは、 ጆ をクリック します。

ツールバーの 国 をクリックすると、投写操作画面が表示されます。

# 投写操作画面

			_			
5	ユーザーリスト	プロジェクターに接続しているコンピューターの ユーザー名が表示されます。最大50台のコンピュー ターやタブレット端末をプロジェクターに接続でき ます。 ユーザー名を投写エリア内の白色のパネルにドラッ グ&ドロップすると、コンピューターの画面が投写 されます。ユーザーリスト内で、投写中のユーザー 名の背景色は、青色で表示されます。投写エリア内 のパネルにドラッグ&ドロップされていて、投写さ れていないユーザー名の背景色は、灰色で表示され ます、コーザーガ会議を掲出しても、コーザー名け		8	<u></u> プロジェクター情 報	プロジェクターのネットワーク情報を表示します。 [プロジェクターキーワード] には、プロジェク ターに接続したときに入力したキーワードが表示さ れます。 :プロジェクターキーワードが設定されていま せん。 [不明]:QRコードの読み取りやUSBキーの挿入な どにより、プロジェクターキーワードを入力せずに 接続しているため、プロジェクターキーワードを取 得できません。
		スタ。ユーリーが会議を返出しても、ユーリー名は ユーザーリスト内に残り、文字色が灰色になりま す。 初期設定ではユーザー名はログインユーザー名が表 マネれます。「オプション設定」画面のユーザー?	(	9	<b>●●●</b> サムネイルを表示	モデレーターの画面上で、参加者の画面をサムネイ ル表示します。
6	3	定タブ、または検索画面でユーザー名を変更できま す。 プロジェクターから投写している画面を参加者の端	(	9	モデレーターをや める/モデレーター になる	モデレーターをやめるときは[モデレーターをやめ る]ボタン、モデレーターになるときは[モデレー ターになる]ボタンをクリックします。表示される ボタンは、接続方法によって異なります。
	しよ 投写画面を配信	木に町后しまり。		0	モデレーター	モデレーターがいるときは、モデレーター名を表示 します。
	接続プロジェク ター名	現在接続しているプロジェクター名を表示します。 接続プロジェクター名をクリックすると、プロジェ クター操作用のWebページが表示されます。コン ピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェク ターを操作できます。詳しくは、プロジェクターの 『取扱説明書』をご覧ください。	(		投写エリア	白色のパネルにドラッグ&ドロップしたユーザーの 画面が投写されます。白色のパネルにユーザーがい ないときは、黒い画面が投写されます。ユーザー名 をドラッグ&ドロップすることで、投写するコン ピューターの画面や、画面の投写位置を切り替える ことができます。
L	1			13	操作対象パネル	投写エリア内のいずれかのパネルをクリックして、 青色の枠で囲まれたパネルが操作対象になります。 投写切り替えボタンをクリックして、操作対象パネ ルにドラッグ&ドロップされているユーザーのコン

ピューター画面を投写します。

# 投写操作画面

12	画面操作ボタン	プロジェクターの状態をお知らせします。 ・ ▶ [表示] : [停止] や [一時停止] を解除 し、コンピューターの画面を投写します。	Image: Barbon line         自分のコンピューターの画面を全画面表示で投写します。
		<ul> <li>         ・          [停止]:プロジェクターと接続したまま投 写を停止します。停止中は、黒い画面が投写され ます。      </li> <li>         「一時停止]:投写中のコンピューターの画 面を静止します。コンピューターの画面を操作し ても、投写映像は静止したままになります。      </li> </ul>	<ul> <li>▶ 関連項目</li> <li>・「プロジェクター検索画面」 p.70</li> <li>・「オプション設定 - ユーザー設定」 p.73</li> <li>・「ツールバー」 p.79</li> <li>・「プロジェクターとの接続を終了する」 p.36</li> <li>・「自分の画面を投写する」 p.44</li> </ul>
15	<b>2</b> ーザーの操作を 禁止/許可する	参加者のマウス操作をロックしたり、ロックを解除 したりします。	<ul> <li>「モデレーターを交代する」 p.45</li> <li>「投写操作画面を隠す」 p.49</li> <li>「投写画面を配信する」 p.47</li> <li>「参加者の操作を制限する」 p.50</li> <li>「投写する映像を操作する」 p.32</li> </ul>
6	<b>回</b> ツールバーに切り 替え	投写操作画面をツールバーに切り替えます。	
	投写切り替えボタン	<ul> <li>コンピューターの画面を投写するパネルの数を切り 替えます。     <ul> <li>「1画面投写]:投写画面を分割せず、1 台のコンピューターまたはタブレット端末の画面 を全画面表示で投写します。         <li>「2画面投写]:投写画面を2分割して、最 大2台のコンピューターやタブレット端末の画面 を同時に投写します。         <li>「1000000000000000000000000000000000000</li></li></li></ul></li></ul>	

# サムネイル画面

ツールバーまたは投写操作画面で 🎫 をクリックすると、次の画面 が表示されます。



0	サムネイル	参加者の端末の画面を表示します。投写中のサム ネイルは青色の枠で囲まれます。
2	選択用チェック ボックス	投写したいサムネイルにチェックを付けます。最 大12個のサムネイルを選択できます。
3	ユーザー名	各サムネイルのユーザー名を表示します。最大32 文字まで表示できます。
4	× 閉じる	サムネイル画面を閉じます。

5	投写	選択したサムネイルを投写します。5個以上のサム ネイルにチェックを付けているときは、サムネイ ル絞り込み画面が表示されます。投写するサムネ イルを4個までに絞り込んで、再度 をク リックしてください。
6	<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	他の参加者の画面は投写せず、自分のコンピュー ターの画面を全画面表示で投写します。
7	▶ 進む	次のページを表示します。
8	ページリスト	表示したいページに切り替えます。
9	↓ 戻る	前のページを表示します。
0	小さいサムネイル を表示する	各サムネイルのサイズを小さくし、表示するサム ネイルの数を増やします。
0	<b>大きいサムネイル</b> を表示する	各サムネイルのサイズを大きくし、それぞれのサ ムネイルを詳細に表示します。
2	全て解除	選択中のサムネイルの数を表示します。チェック ボックスのチェックを外すと、すべてのサムネイ ルの選択を解除します。チェックボックスに再度 チェックを付けると、解除する前に選択していた サムネイルが再び選択されます。

# サムネイル画面

(3	0	各サムネイルを更新します。
	更新	

## Viewer

次のいずれかの操作を行うと、Viewerが表示されます。

- ・配信されたデータを受信したとき
- ・投写操作画面のツールメニューで [受信画像を表示] を選択したとき
- ・ツールバーで 💻 をクリックしたとき



	D	次へ	次のデータを表示します。
Q	2	前へ	前のデータを表示します。

# 付録

Epson iProjectionのアンインストール方法、制限事項などを説明します。

### ▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 p.87
- ・「対応解像度と表示色」 p.89
- ・「制限事項」 p.90
- 「一般のご注意」 p.92

# ソフトウェアを更新、またはアンインストールする

Epson iProjectionの更新、またはアンインストールは次の方法で行えます。

### ▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 p.87
- ・「Epson iProjectionをアンインストールする(Windows Vista/Windows 7/Windows 10)」 p.87
- ・「Epson iProjection をアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)」 p.87
- ・「Epson iProjectionをアンインストールする(Mac)」 p.88

# ソフトウェアの最新バージョンを入手する

ソフトウェアの最新バージョンは、エプソンのホームページからダウ ンロードできます。

http://www.epson.jp/download/ にアクセスしてください。

# Epson iProjectionをアンインストールする(Windows Vista/Windows 7/Windows 10)

次の方法でEpson iProjectionをアンインストールします。



ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要 です。





[スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。



Windows 10をお使いのときは、[スタート]を右クリック し、[コントロールパネル]をクリックします。

- ④ [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- **5** [Epson iProjection] を選択して、 [アンインストール] をクリックします。
- 6 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

# Epson iProjection をアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)

次の方法でEpson iProjectionをアンインストールします。



ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要 です。

- コンピューターの電源を入れます。
- 2 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- [アプリ] 画面で [Epson iProjection Ver.X.XX] を右クリック
  (長押し) します。
- 4. アプリバーから [アンインストール] を選択します。
- 5 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

# ソフトウェアを更新、またはアンインストールする



# 対応解像度と表示色

投写可能なコンピューターの画面解像と画面の色数は、次のとおりで す。

### ▶ 関連項目

- •「対応解像度」 p.89
- ・「表示色」 p.89

## 対応解像度

投写可能なコンピューターの画面解像度は、次のとおりです。WUXGA を超える解像度のコンピューターとは接続できません。

- SVGA (800 × 600)
- XGA (1024 × 768)
- SXGA (1280 × 960)
- SXGA (1280 × 1024)
- SXGA+ (1400 × 1050)
- WXGA (1280 × 768)
- WXGA (1280 × 800)
- WXGA+ (1440 × 900)
- UXGA (1600 × 1200)
- WUXGA (1920 × 1200)

縦横比が特殊な画面のコンピューターの場合は、コンピューターおよ びプロジェクターの画素数に応じて、映像の品質をなるべく損なわな いように調整された解像度に拡大・縮小されて投写されます。

このとき、解像度によっては縦方向または横方向の余白部分が黒く投 写される場合があります。

## 表示色

投写可能なコンピューターの画面の色数は、次のとおりです。

Windows	Mac
16ビットカラー	約32000色(16ビット)
32ビットカラー	約1670万色(32ビット)

Epson iProjectionを起動してコンピューターの映像を投写するときは、 次の制限事項があります。ご確認ください。

### ▶ 関連項目

- ・「使用時の制限」 p.90
- 「WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限」 p.90
- ・「Windows Aeroの制限」 p.90
- ・「Windows Media Center投写時の制限」 p.91

### 使用時の制限

Epson iProjectionの使用時には、次の制限があります。

- 1台のコンピューターから、最大4台のプロジェクターに接続して同時に映像を投写できます。(マルチスクリーンには対応していません。)
- 1台のプロジェクターに、Epson iProjectionを使用するコンピューター とスマートフォンをあわせて50台まで接続できます。
- ・音声を転送できるのは1台のプロジェクターと接続して1つの画面を 全画面表示で投写しているときのみです。複数台のプロジェクター に接続しているとき、または画面を分割して投写しているときは音 声を転送できません。
- ・無線LANの通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態と なり、予期しないときに切断されることがあります。
- ・DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示 できない場合があります。(Windowsのみ)
- MS-DOSプロンプトの全画面表示は投写できません。(Windows のみ)
- ・コンピューター上の画面とプロジェクターが投写する映像は完全に 一致しないことがあります。
- ・動画を再生する場合、コンピューター上で再生した場合と比べて、 スムーズに再生されません。

 「オプション設定」の「一般設定」タブで「インタラクティブペン を使用する」にチェックを付けているときに、コンピューターの画 面に黒帯が見えているときは、インタラクティブペンの位置がずれ ることがあります。

## WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラ リー投写時の制限

Epson iProjectionを起動中にWindowsフォトギャラリーまたはLiveフォ トギャラリーを起動すると、次の制限があります。

 WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーでスライド ショーを行うと、シンプルモードで再生されます。 ツールバーが表示されませんので、Windowsエクスペリエンスイン デックスのスコアに関わらず、再生中にテーマ(効果)の変更はで きません。 いったんシンプルモードになると、Epson iProjectionを終了しても

WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを継続してい る間はモード変更できません。WindowsフォトギャラリーまたはLive フォトギャラリーを再起動してください。

・動画再生ができません。

### Windows Aeroの制限

お使いのコンピューターのウィンドウデザインがWindows Aeroのときは、次の制限があります。

・Epson iProjectionのオプション設定画面の [レイヤードウィンドウの 転送] に関わらずレイヤードウィンドウが投写されます。  Epson iProjectionでコンピューターとプロジェクターをネットワーク 接続してから何分かすると、以下のメッセージウィンドウが表示さ れることがあります。



[現在の画面の配色をそのままにして、このメッセージを今後表示 しない]を選択することをお勧めします。この選択はコンピュー ターを再起動するまで有効です。

### Windows Media Center投写時の制限

Windows Media Center投写時には、次の制限があります。

- Windows Media Centerの映像は、全画面表示した状態で投写できません。Window表示の状態にすると投写できます。
- Epson iProjectionでコンピューターの音声をプロジェクターに転送して再生中に音声が出なくなったときは、使用しているアプリケーションを一度終了してから、再度実行してください。

## 一般のご注意

次の点にご留意ください。

### ▶ 関連項目

- ・「ご注意」 p.92
- ・「表記について」 p.92
- ・「商標について」 p.92
- •「著作権について」 p.93

### ご注意

- 1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断り いたします。
- 2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不 審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいま すようお願いいたします。
- 4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負い かねますのでご了承ください。
- 5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わず に取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者「(お 問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等 に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますので ご了承ください。
- エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

## 表記について

- Microsoft<sup>®</sup> Windows Vista<sup>®</sup> operating system
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 7 operating system
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 8 operating system
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 8.1 operating system
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 10 operating system

#### 本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞ

れ、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、Windows Vista、 Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10を総称する場合は Windows、複数のWindowsを併記する場合はWindows Vista/7のよう に、Windowsの表記を省略することがあります。

- OS X 10.7.x
- OS X 10.8.x
- OS X 10.9.x
- OS X 10.10.x
- OS X 10.11.x
- macOS 10.12.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」、「OS X 10.10.x」、「OS X 10.11.x」、「macOS 10.12.x」と表記しています。またこれらを総称す る場合は「Mac」と表記します。

## 商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「EasyMP」およびそのロゴはセイコーエプソン株式 会社の登録商標または商標です。

# 一般のご注意

XGAはInternational Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Mac、Mac OS、OS XおよびmacOSはApple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、 米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または 登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合で も、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について:本装置は当社が権利を有するソフト ウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

## 著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2017. All rights reserved.

2017.5 413431600JA